

閱 覧 設 計 書

工 事 名	道路改良工事（市道泉・長井 1 号線）分割 2 号
施 行 箇 所	矢板市長井地内
工 期	令和 8 年 3 月 1 0 日まで

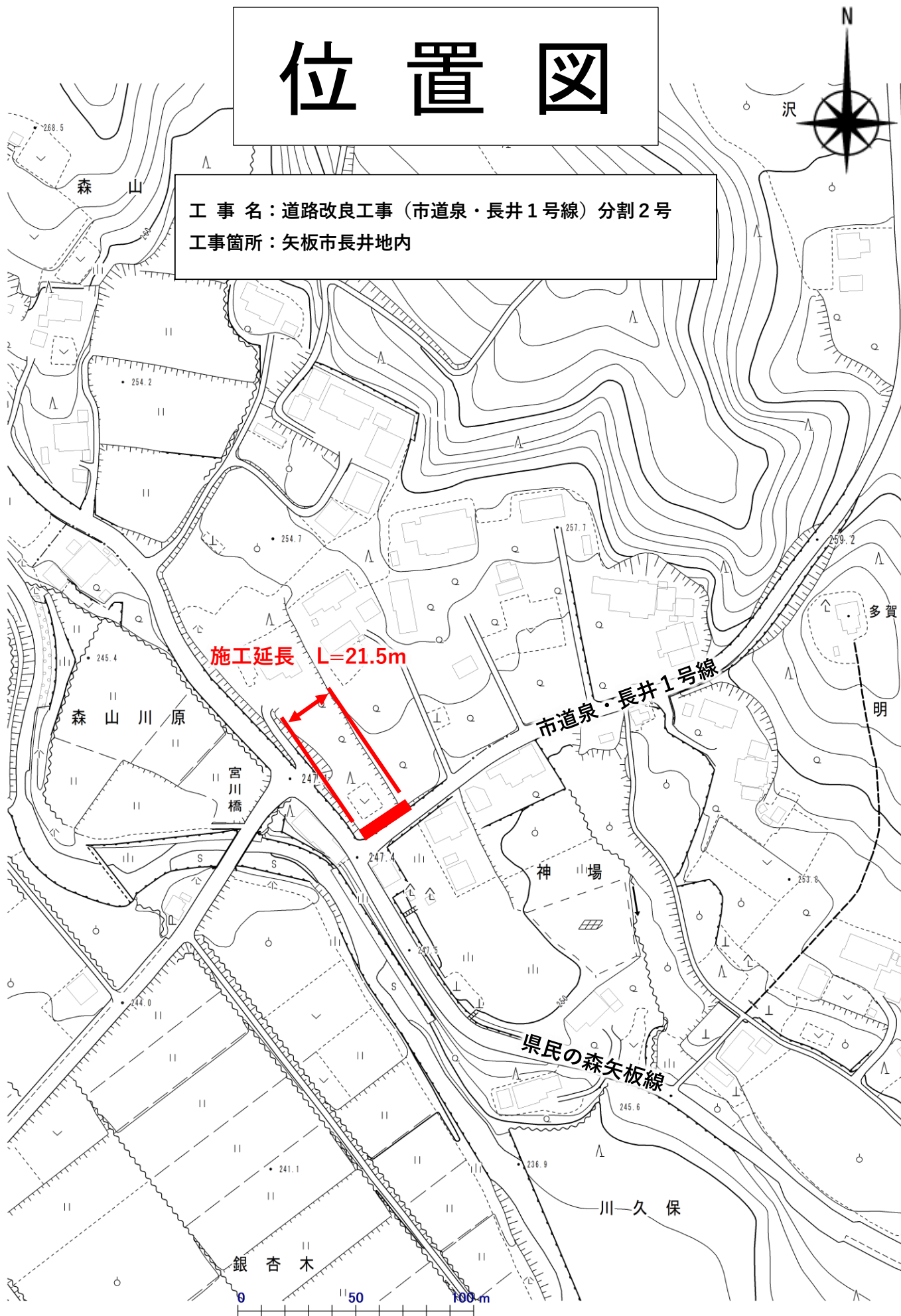
入 札 日	令和 7 年 8 月 2 8 日	時間については、入札通知書により確認のこと
場 所	矢板市生涯学習館 2 階 研修室（1）	
閱 覧 期 間	令和 7 年 月 日 ～ 令和 7 年 8 月 2 7 日	
担 当	建設課	

そ の 他	
-------	--

[illegible]

位置図

工 事 名：道路改良工事（市道泉・長井1号線）分割2号
工事箇所：矢板市長井地内



(●:適用する ○:適用しない)

1/5

施工条件書

(●:適用する ○:適用しない)

項目	事	項																																						
公害・環境対策関係	○ 1 施工方法等において、公害防止の為の制限がある。 対 象 工 種 : 対 象 箇 所 : 制 限 内 容 : ○ 2 騒音・振動等の測定を指定する箇所がある。 対 象 工 種 : 対 象 箇 所 : 制 限 内 容 : ○ 3 地元対策上や法改正等により規制処置が必要となった場合は、監督職員に報告し協議する。 内 容 : ○ 4 河川土工等で、河川を汚濁させる場合は事前に協議のうえ、その対策の措置を講ずること。 ○ 5 水替・流入防止施設が必要である。 対 象 工 種 : 対 象 箇 所 : 制 限 内 容 : ○ 6 濁水、湧水等の処理で特別な対策を必要とする。 対 象 工 種 : 対 象 箇 所 : 時 期 : 処 理 施 設 : 排 水 場 所 : ● 7 当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する。 ○ 8 本工事の着手前と完成後に、付近の家屋及び工作物等の外観調査を行い、工事による影響を把握すること。なお、調査方法、範囲等については、監督職員と協議すること。 ○ 9 その他 内容																																							
安全対策関係	● 1 一般の車両・歩行者の通行の影響を受けるため、交通誘導警備員を配置する必要がある。 ○ (1) 一般的な工事の場合 交通誘導警備員については、警備業法による警備員とし配置場所は監督職員と協議するものとする。 ○ (2) 栃木県公安委員会告示第54号で定める路線の場合 交通誘導警備員については、警備業法による警備員とし交通誘導警備業務(警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう)に従事する交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員を1名以上配置しなければならない。また、警備員の配置場所は監督職員と協議するものとする。 ○ (3) 図面により配置を指定した場合 工事の施工にあたっては、別添図面のとおりに交通誘導警備員を配置し、一般交通等に支障を及ぼさないように十分注意して施工するものとする。 ● (4) 交通誘導警備員の計上 交通誘導警備員は下表のとおり見込んでいるが、警察等の協議により変更が生じた場合等は別途協議する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th><th rowspan="2">現場条件</th><th colspan="3">交通誘導警備員A</th><th colspan="3">交通誘導警備員B</th></tr> <tr> <th>日数</th><th>配置</th><th>人数</th><th>日数</th><th>配置</th><th>人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>昼間勤務 (8:00~17:00) (うち交替要員○人)</td><td></td><td></td><td></td><td>34</td><td>1</td><td>34</td></tr> <tr> <td>2</td><td>夜間勤務 (20:00~5:00) (うち交替要員○人)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>3</td><td>24時間勤務 (うち交替要員○人)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> 延べ 〔 昼 34 人 夜 _____ 人 〕	区分	現場条件	交通誘導警備員A			交通誘導警備員B			日数	配置	人数	日数	配置	人数	1	昼間勤務 (8:00~17:00) (うち交替要員○人)				34	1	34	2	夜間勤務 (20:00~5:00) (うち交替要員○人)							3	24時間勤務 (うち交替要員○人)							
区分	現場条件			交通誘導警備員A			交通誘導警備員B																																	
		日数	配置	人数	日数	配置	人数																																	
1	昼間勤務 (8:00~17:00) (うち交替要員○人)				34	1	34																																	
2	夜間勤務 (20:00~5:00) (うち交替要員○人)																																							
3	24時間勤務 (うち交替要員○人)																																							

施工条件書

(●:適用する ○:適用しない)

項 目	事	項
安全対策関係	☐ 2 鉄道、ガス、電気、水道等の施設と近接する工事であるため、施工方法等に制限がある 内 容 : ☐ 3 落石、雪崩、土砂崩落等に対する防護施設の計上がある。 内 容 : ☐ 4 発破作業等の制限、又は保安設備、保安要員の配置指定がある。 内 容 : ☐ 5 昼夜の通行車両、自転車歩行者、飛び石防止等の安全確保をすること 内 容 : ☐ 6 その他 :	
工事用道路関係	☐ 1 一般道路を搬入路として使用するには次の制約がある。 (1) 工事用資機材等の搬入経路、使用期間、使用時間帯等に制限がある。 搬 入 経 路 : 使用期間、時間帯 : (2) 搬入路の使用及び使用後の処置が必要である。 処 置 内 容 : (3) 本工事周辺道路の損傷を把握するため、着手前と完成後に現地調査を行うこと。 処 置 内 容 : ☐ 2 仮設道路を設置する。 (1) 仮設道路の安全施設が必要である。 内 容 : (2) 仮設道路の維持補修が必要である。 内 容 : (3) 工事終了後の処理 : ☐ 在置 ☐ 撤去 ☐ 3 その他 内容	
仮設備関係	☒ 1 仮土留、仮橋、足場等の仮設物を、次年度にわたり使用又は他の工事に転用もしくは兼用する。 内 容 : 仮橋の管理・賃料を計上 ☐ 2 仮設備の構造及びその施工方法を次のとおり指定する。 内 容 : ☐ 3 その他 内容	

施工条件書

(●:適用する ○:適用しない)

項目	事	項												
建設副産物関係	○ 1 建設発生土処理場所 ○ 指定処理(A) 残土の処理場所 : 運搬距離 _____ km ○ 指定処理(B) 設計上、残土の処理場所は、_____kmの範囲内に処理すると見込んでいるが、発注後、監督職員と協議する。 ○ その他 建設発生土の処理について、捨土処理報告書(別添様式参照)を作成し、監督員に提出する。また、原則日曜、祭日、夜間の捨土は不可とする。 ● 2 「建設工事に係る資材の再資源化に関する法律(平成12年法律第104号)」に基づき、分別解体及び再資源化の実施について適正な措置を講ずること。 ● (1) 本工事で発生する建設廃棄物は、設計上、次の施設に持ち込むことを見込んでいる。 再生資源化施設(Co塊、As塊) <table border="1"> <tr> <td>処理品目: ● Co塊 ○ As塊 (株)浜屋組</td><td></td></tr> <tr> <td>所在地: 矢板市針生字境峰363-1</td><td>運搬距離: 7 km</td></tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>処理品目: ○ Co塊 ○ As塊 施設名</td><td></td></tr> <tr> <td>所在地: 処理施設所在地</td><td>運搬距離: _____ km</td></tr> </table> 再生資源化施設(建設発生木材) <table border="1"> <tr> <td>処理品目: ○ 建設発生木材</td><td></td></tr> <tr> <td>所在地: _____</td><td>運搬距離: _____ km</td></tr> </table> ただし、上記は積算上の条件を明示するものであり、処理施設を指定するものではない。 ○ (2) 特定建設資材を、材料として使用する工事である。 ※特定建設資材:コンクリート、コンクリートと鉄筋を含む建設資材、木材、アスファルト ● その他 建設廃棄物処理委託契約を処理業者と締結し、契約書の写しを建設副産物処理承認申請書に添付すること。また、マニフェストE票の写し及び廃材処理報告書(別添様式)を竣工図書に添付すること。 ○ 3 舗装版の切断時に発生する濁水の適正な処理 本工事におけるカッター切断作業により発生する濁水については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)」に基づき適正に処理しなければならない。 また、下記の処理施設は積算上の条件を明示するものであり、処理施設を指定するものではない。なお、舗装版切断時に発生する濁水の処理量は、設計変更の対象とする。 積算上の処理施設: 運搬距離 _____ km ○ 4 建設汚泥の処理(舗装版切断時に発生する濁水を除く。) 下記の処理施設は、積算上の条件を明示するものであり、処理施設を指定するものではない。ただし、建設汚泥については「栃木県建設汚泥処理施設名簿」より適切な施設を選定すること。 積算上の処理施設: ○○○会社(○○○市○○) ※「栃木県建設汚泥処理施設名簿」は、栃木県ホームページに掲載されている。 ホーム>県政情報>庁舎・組織の案内>県土整備部 >技術管理課>4. その他情報>栃木県建設汚泥処理施設名簿について http://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/kensetsuodei.html ● 5 再生資源利用[促進]計画書の提出 工事を実施するにあたり、再生資源利用[促進]計画書を施工計画書に添付するものとし、計画書の実施状況については、再生資源利用[促進]実施書を作成して、工事完了後速やかに実施書を発注者に提出すること。また、再生資源利用[促進]計画書(実施書)の作成にあたり、再生資源利用[促進]計画書(実施書)入力システムを利用するものとする。	処理品目: ● Co塊 ○ As塊 (株)浜屋組		所在地: 矢板市針生字境峰363-1	運搬距離: 7 km	処理品目: ○ Co塊 ○ As塊 施設名		所在地: 処理施設所在地	運搬距離: _____ km	処理品目: ○ 建設発生木材		所在地: _____	運搬距離: _____ km	
処理品目: ● Co塊 ○ As塊 (株)浜屋組														
所在地: 矢板市針生字境峰363-1	運搬距離: 7 km													
処理品目: ○ Co塊 ○ As塊 施設名														
所在地: 処理施設所在地	運搬距離: _____ km													
処理品目: ○ 建設発生木材														
所在地: _____	運搬距離: _____ km													

施工条件書 (●:適用する ○:適用しない)	
項 目	事 項
工事支障物件	● 受注者は、工事施工箇所に地下埋設物件等が予想される場合には、当該物件の位置、深さ等を調査し監督職員に報告しなければならない。また、施工の障害となる占用物件がある場合は、占用者とその処置について打ち合わせを行い、監督職員に報告しなければならない。 受注者は施工中、管理者不明の地下埋設物等を発見した場合は、監督職員に連絡し、その処置については占用者全体の現地確認を求め、管理者を明確にしなければならない。 ○ 1 地上、地下等への占用物件等で次のとおり工事支障物件が存在する。 ① 支障物件 : 移設時期 : 管理者名 : ② 支障物件 : 移設時期 : 管理者名 : ○ 2 工事区間には次の占用物件が存在するので、占用物件管理者に立会を求め、占用物件に影響を与えないよう施工すること。 ○ 電話 ○ 電気 ○ ガス ○ 鉄道 ● 上水道 ○ 下水道 ○ 警察 ○ その他 : ○ 3 工事区間では次の占用物件が施工中であるので、占用物件管理者との工程調整を密に行い、工事に支障のないよう調整すること。 ○ 電話 ○ 電気 ○ ガス ○ 鉄道 ○ 上水道 ○ 下水道 ○ 警察 ○ その他 : ○ 4 その他 内容 工事影響範囲内に架空電線等が存在する。 受注者は、架空電線類等の管理者に防護措置を依頼する場合は、事前に監督職員と協議を行うこと。
その他	○ 1 工事用資機材の保管及び仮置きは、次のとおりとする。 保 管 場 所 : 保 管 期 間 : 保 管 方 法 : ○ 2 工事現場発生品があるので、次のとおり取り扱うこと。 発 生 品 名 : 発 生 数 量 : 再 利 用 の 有 無 : 引 渡 し 場 所 : ○ 3 支給材料及び貸与品があるので、次のとおり取り扱うこと。 支 給 品 名 : 品質、規格又は性能: 支 給 数 量 : 引 渡 し 場 所 : 引 渡 し 期 間 : ○ 4 関係機関・自治体等との近接協議に係る条件等がある。 内 容 : ○ 5 架設工法を指定する。 内 容 : ○ 6 工事用電力等を指定する 内 容 : ○ 7 新技術・新工法・特許工法を指定する。 内 容 : ○ 8 部分使用を行う必要がある。 内 容 : ○ 9 その他 内 容 :

(別紙 5)

捨 土 処 理 報 告 書

令和 年 月 日

矢板市長 様

住 所
商号又は名称
代 表 者 氏 名

捨土処理について、次のように処理を行いましたので、関係書類を添えて報告いたします。

記

- 1. 工 事 名
- 2. 工 事 場 所
- 3. 処 分 場 所
- 4. 処分地所有者名
又は処理施設社名
- 5. 処 理 量
- 6. 付 属 書 類

写真（処理前後）、位置図

(別紙 6)

廃材処理報告書

令和 年 月 日

矢板市長 様

住 所
商号又は名称
代表者氏名

廃材処理について、次のように処理を行いましたので、関係書類を添えて報告いたします。

記

1. 工 事 名

2. 工 事 場 所

3. 処 分 場 所

4. 処分地所有者名
又は処理施設社名

5. 処 理 量

6. 付 属 書 類

写真（中間処理施設看板、廃材幅管理）、位置図
中間処理施設入荷証明

特記仕様書

この特記仕様書は、栃木県土木工事共通仕様書でいう特記仕様書である。

(●:適用する ○:適用しない)

項 目	事 項
現場代理人の常駐義務の緩和及び専任の主任技術者の兼任等	○ 1 本工事は、現場代理人及び主任技術者の他工事との兼任は認めない。 ○ 交通量が多い現道上の工事であり、現場の安全管理に特に万全を期す必要がある。 ○ 急傾斜地での工事であり、現場の安全管理に特に万全を期す必要がある。 ○ 当該工事は_____であり、現場代理人が他の工事と兼任した場合、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障があるため、兼任は認めない。 ○ 理由: ● 2 本工事における現場代理人について、以下のすべての要件を満たし、かつ、発注者の承諾を受ければ、他工事との兼任が可能である。ただし、作業工程上、受注者が安全管理や現場の運営・取締りなどの面で、現場代理人の常駐が必要と判断した間は、この限りではない。 (要件) (1) 矢板市発注の工事で、入札公告等に兼任可能である旨明記されているもの。 (2) 兼任できる工事は、同一現場代理人は2件までとする。 (3) いずれの兼任工事も請負代金が3,500万円未満とする。 (4) 工事を兼任する現場代理人は、工事現場の安全管理を徹底し、常に市(監督員)と連絡が取れる体制を確保すること。 (5) 現場代理人は、駐在する現場に偏りがないように配慮しつつ、兼任する現場いずれかに必ず駐在し、兼任する現場の管理運営に努めるものとする。 (6) 過去5年間に、現場代理人若しくは主任(監理)技術者として配置した矢板市発注工事において、工事成績評価が「D」以下でない者。 ※ 個々の工事の施工難易度や工事現場の条件等により兼任が不可能と判断した場合は、兼任を認めず、また兼任を取消すことがある。 ● 3 本工事における主任技術者(監理技術者は除く。)について、以下のすべての要件を満たし、かつ、発注者の承諾を受ければ、他工事との兼任が可能である。 (要件) (1) 矢板市発注の工事で、入札公告等に兼任可能である旨明記されているもの。 (2) 工事対象となる工作物に一体性若しくは連続性が認められ工事又は施工にあたり相互に調整を要する工事で、かつ、工事場所が近接しているもの。 (3) 主任技術者が管理することができる工事の数は、専任が必要な工事含む場合は、原則2件とする。 (4) 過去5年間に、現場代理人若しくは主任(監理)技術者として配置した矢板市発注工事において、工事成績評価が「D」以下でない者。 ※ ただし、以下の工事は兼任を認めない。 1. 監理技術者の配置を要すると見込まれる工事。 2. 低入札価格調査を経て契約締結した又は締結しようとする工事。 ※ なお、主任技術者を現場ごとに専任で置く必要がある工事は、「公共性のある工作物に関する重要な工事」で、「請負金額が4,000万円以上」の工事をいう。(建設業法第26条第3項及び建設業法施行令第27条) また、発注者から直接請け負った工事のうち4,500万円(※土木工事の場合)以上を下請負契約して工事を施工するときは、主任技術者に代えて「監理技術者」を専任で置かなければならない。(建設業法第26条第3項及び建設業法施行令第2条) ● 4 当該現場において現場代理人と主任技術者等の兼務は可能である。 ● 5 現場代理人又は主任技術者を兼任させようとする場合は、双方の監督員と工事打合せ簿により協議のうえ、承認を受けなければならない。承認を得たのち、管財担当へ現場代理人(主任技術者)の兼任届出書(様式第1号)を協議書の写しとともに提出すること。

特記仕様書																	
この特記仕様書は、栃木県土木工事共通仕様書でいう特記仕様書である。 (●:適用する ○:適用しない)																	
項 目	事 項																
主任技術者について	○ 1 建設業法(昭和24年法律第100号)による技術検定(以下「技術検定」という。)のうち検定種目を一級の建設機械施工管理または一級の土木施工管理とするものに合格した者、並びに建設大臣が前述の者と同等以上の能力を有するものと認定した者。 ● 2 建設業法(昭和24年法律第100号)による技術検定(以下「技術検定」という。)のうち検定種目を二級の建設機械施工管理または二級の土木施工管理とするものに合格した者、並びに建設大臣が前述の者と同等以上の能力を有するものと認定した者。 ● 3 技術法(昭和32年法律第124号)による本試験のうち技術部門を建設部門、農業部門(選択科目「農業土木」とするものに限る。)とするものに合格した者。 ※ なお、主任技術者等の通知書に合格証明書等有資格技術者であることを証するもの(写しでも可)を添付すること。																
法定福利費を明示した請負代金内訳書の提出	● 法定福利費を明示した請負代金内訳書の提出について 本工事において、受注者は、当初契約後、14日以内に請負代金内訳書(以下「内訳書」という。)を作成して、発注者に提出するものとする。 なお、変更契約時については、発注者から内訳書の提出を請求された場合、受注者は、内訳書を提出しなければならない。																
週休2日制工事	○ 1 本工事は「矢板市週休2日制工事試行要領」に基づく工事である。(発注者指定型) ● 2 本工事は「矢板市週休2日制工事試行要領」に定める受注者の希望により週休2日制工事が実施できる工事である。(受注者希望型)																
再生材関係	● 1 受注者は、再生クラッシャーランの使用にあたっては、「再生材の利用基準」(県土整備部制定)を準拠することとし、現場搬入開始時には目視による品質確認状況を写真に記録するとともに、「再生クラッシャーラン(RC材)品質確認状況報告書」を作成のうえ、速やかに監督職員に提出するものとする。 なお、報告書は、本工事におけるRC材の搬入開始時に1枚作成し、その他供給元が変更するごとに最初の搬入時に1枚作成する。 ● 2 本工事は、エコスラグ入り再生加熱アスファルト混合物を使用すること。なお、供給不能な場合などやむを得ない事情により使用できない場合は、監督職員と協議の上、再生加熱アスファルト混合物に変更できるものとする。なお、この場合においても原則として設計変更の対象としない。																
県土整備部リサイクル製品利用指針関係	● 1 受注者は、「県土整備部リサイクル製品利用指針」に基づき、「とちの環エコ製品」の使用に努めるものとする。 ○ 2 本工事では、上記に加え、以下に指定する「とちの環エコ製品」を使用するものとする。なお、指定製品の調達が困難な場合は、監督職員と協議し、使用目的に応じて、他の「とちの環エコ製品」又は、新材品等に変更することができる。 この工事で使用を指定する「とちの環エコ製品」 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>使用工種</th> <th>とちの環エコ製品 品目名・ブランド名</th> <th>規格・寸法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ● 3 受注者は、「とちの環エコ製品」を利用した場合は、別紙の「リサイクル製品利用実績書」を工事完成時に再生資源利用実施書に添付して提出するものとする。		使用工種	とちの環エコ製品 品目名・ブランド名	規格・寸法	1				2				3			
	使用工種	とちの環エコ製品 品目名・ブランド名	規格・寸法														
1																	
2																	
3																	

特記仕様書

この特記仕様書は、栃木県土木工事共通仕様書でいう特記仕様書である。
(●:適用する ○:適用しない)

項 目	事 項									
不正軽油防止対策	● 工事現場における不正軽油の使用防止に関し、次の事項を遵守すること。 1 本工事は、地方税法(昭和25年法律第226号)及び特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(平成17年5月25日法律第51号)を遵守すること。 2 本工事で使用し又は使用させる軽油使用の車両(資機材等の搬出入車両を含む)並びに建設機械等の燃料には規格(JIS)に合った軽油を使用すること。 また、使用燃料の抜き取り調査を行う場合には、現場代理人がこれに立ち会うなど協力を行うこと。 3 以上のことについて、下請業者及び資材運搬業者等にも十分に指導すること。									
出水期間中の現場管理及び施工	○ 1 出水期間中の現場管理及び施工について 本工事における出水期間中の現場管理及び施工については、栃木県土木工事共通仕様書第1編「1-1-1-26工事中の安全確保」に基づき、作業員の待避及び仮設物・資機材等の流出防止等、必要な対策を講ずるものとする。 なお、上記については栃木県土木工事共通仕様書「1-1-1-4施工計画書」に基づき、施工計画書に記載のうえ監督員に提出するものとする。 また、気象情報や河川水位の収集及び伝達方法等についても施工計画書に記載し、安全確保に万全の体制を執るものとする。									
その他	○ 1 本工事は _____ 調査の対象工事となっているので、調査票を提出すること。 ● 2 本工事は、工事の最終成果を電子データで納品する電子納品対象工事である。 (1) ここでいう電子データとは、「電子納品運用に関するガイドライン(案)」(以下「電子納品ガイドライン」という)に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名または押印の取扱いについては、別途監督員と協議するものとする。 (2) 成果品の提出の際には、国土交通省チェックシステムを利用し、エラーがないことを確認した後、ウィルスチェックを実施したうえで電子媒体(CD-R等)に格納して正副各1部、計2部提出する。 なお、電子納品の対象外とした書類は、従来通り紙で納品する。 「ガイドライン」で特に記載のない項目については、原則として成果を電子化して提出する義務はないが、監督職員と協議の上、電子化を決定する。また、紙による書類の提出は必要最小限とする。 (3) 請負者は、発注者に提出する電子媒体に格納したデータを、バックアップとして請負者のハードディスク等に保管し、その保管年数は10年間を原則とする。 (4) 受注者は、電子媒体(CD-R又はDVD-R)において、提出した電子データが「電子納品ガイドライン」に基づき作成されていることを監督職員の立会いのもと確認する。 なお、電子データの検査方法については、別途協議のうえ決定する。 (5) 受注者は、本工事の実施にあたり内容に疑義が生じた場合には、速やかに監督職員と協議し、その指示を受けなければならない。 ○ 3 瀝青材料の散布量については次のとおりとする。 瀝青材料の散布量(100m2当り)<table><tr><td>種 別</td><td>単位</td><td>数 量</td></tr><tr><td>タックコート</td><td>ℓ</td><td>43</td></tr><tr><td>プライムコート</td><td>ℓ</td><td>126</td></tr></table> (注) 1. 基層にグースアスファルト混合物を使用する場合の瀝青材料は、タックコート(ゴム入り)を使用する。 2. 排水性アスファルト混合物を使用する場合の瀝青材料は、タックコート(ゴム入り)を使用する。 3. 上記の散布量には、材料ロス分を含む。 ● 4 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。 受注者は保険契約の締結後速やかに、その証券又はこれに代わるものを発注者に提示し確認を受けること。 ● 5 CORINSへの登録(栃木県土木工事共通仕様書 1-1-5CORINSへの登録) CORINSへの登録は、契約後10日以内(土日祝日を除く。)に行うこと。 また、技術者の従事期間は、実工期の期間(契約書に記載されている工期)をもって登録すること。 ○ 6 その他 内容 :	種 別	単位	数 量	タックコート	ℓ	43	プライムコート	ℓ	126
種 別	単位	数 量								
タックコート	ℓ	43								
プライムコート	ℓ	126								

事務所 設計書名 変更回数	11 矢板市 実施設計書 0	当初 07-11003700001-40
適用単価区分 適用単価地区 適用単価世代	1 実施単価 61 矢 板土木事務所管内 0-070710(0)	
諸経費体系 ファイル名	1 一般公共 【R7】道路改良工事（市道泉・長井1号線）分割2号.E55	
	当 世 代	前 世 代
前払率 工種 現場環境改善費 市街地補正区分 交通規制区分 ゼロ債務工事に係る補正 週休二日補正区分 契約保証方法 消費税等の率	40 04 道路改良工事 00 計上しない 12 市街地以外 03 一般交通影響なし 01 補正なし 01 補正なし 01 金銭的保証 06 10%適用	

07-11003700001-40

数量総括表 (設計書)

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
本 工 事					
道路改良		1 式			YOHZZ
道路土工		1 式			YOH1Y
掘削工		1 式			YOH1Y200
掘削		1 式			YOH1Y200A00
掘削 A=1, B=1, C=2, D=1, E=3, I=1	土砂 オープンカット	m 3		664	SZA101
残土処理工		1 式			YOH1Y205
土砂等運搬		1 式			YOH1Y205A01
土砂等運搬 A=1, B=3, C=1, D=1, F=1, G=8	標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m 3		648	SZA105
残土等処分		1 式			YOH1Y205A0F
残土等処分 A=1		m 3		648	SZA133
地盤改良工		1 式			YOH01

07-11003700001-40

数量総括表 (設計書)

頁0-0002

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	摘 要
置換工		1 式			YOH0125A
置換		1 式			YOH0125A40F
路床置換工 (有効層)		m 3		69	S1801
B=2, C=3, D=1, E=1	再生クラッシャーラン RC100	m 3		27	S1803
路床置換工 (無効層)		m 3			YOH1Z
A=2, B=1, D=1		1 式			YOH1Z20B
石・ブロック積 (張) 工		1 式			YOH1Z20B40R
作業土工		1 式			SZA161
床掘り		1 式			YOH1Z20B5F2
床掘り	土砂 標準	m 3		28	SZA181
A=1, B=1, C=1, D=1, E=1		1 式			YOH1Z2M0
埋戻し		m 3		10	YOH1Z2M0B22
A=6, B=1, D=1, E=1		1 式			
コンクリートブロック工 (C oブロック積)		1 式			
コンクリートブロック基礎		1 式			

07-11003700001-40

数量総括表 (設計書)

頁0-0003

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	摘 要
現場打基礎コンクリート	18-8-40 高炉 基礎碎石あり	m 3		3	SZA463
B=1, C=1, D=1, E=2, F=1, H=1, I=1		1 式			YOH1Z2M0B6X
基礎材		1 式			SZB401
コンクリートシーラ	無筋・鉄筋構造物 人力打設	m 3		0.5	YOH1Z2M0B0W
A=1, B=4, E=2, G=2, K=1, L=4, M=1, O=1, P=1, Q=1, R=1		1 式			SZA419
コンクリートブロック積		m 2		99	YOH1Z2M0B0X
間知ブロック積	鉄筋なし	1 式			SZA487
A=2	積工 18-8-25 高炉セメント	m 3		19	SZA487
胴込・裏込コンクリート	積工 18-8-25 高炉セメント	m 3		15	YOH1Z2M0B0Y
胴込コンクリート		1 式			SZA447
A=1, C=1, D=4, E=1, G=1, H=1	間知・平・連筋・緑化ブロック 再生クラッシャーラン RC-80	m 3		22	F0005
裏込コンクリート		m ²		9	F0003
A=1, C=1, D=4, E=1, G=1, H=1	t=20mm m ² 当り	m		20	
胴込・裏込材 (碎石)	VP φ50mm m当り				
胴込・裏込材 (碎石)					
A=1, B=1, C=5					
目地材					
水抜きパイプ					

07-11003700001-40

数量総括表 (設計書)

頁0-0004

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	摘 要
吸出し防止材 (全面) 設置		1 式			YOH1Z2M0B0Z
吸出し防止材設置		m 2		3	SZA831
仮設工		1 式			YOH1Z2M0B2U
足場工	単管傾斜足場	式		1	S0384
A=99, B=3, C=2 天端コンクリート		1 式			YOH1Z2M0A67
現場打天端コンクリート	18-8-25 高炉 一般養生	m 3		2	SZA416
B=1, C=1, D=4, E=1, G=1, H=1 排水構造物工		1 式			YOH25
作業土工		1 式			YOH25200
床掘り		1 式			YOH2520040R
床掘り	土砂 標準	m 3		25	SZA161
A=1, B=1, C=1, D=1 埋戻し		1 式			YOH252005F2
埋戻し	土砂 現場制約あり	m 3		5	SZA181
A=6, B=1, C=1, D=1					

07-11003700001-40

数量総括表 (設計書)

頁0-0005

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	摘 要
側溝工		1 式			YOH25201
管 (函) 渠型側溝		1 式			Y451936
L型側溝	300*300 集水部	m		10.7	G1108
管 (函) 渠型側溝 (V型) 300*300 一般部	300*300 一般部	m		37.2	G1106
管 (函) 渠型側溝 (V型) 300*300 集水部	300*300 集水部	m		2.0	G1107
管 (函) 渠型側溝 (V型) 300*400 一般部	300*300 集水部	m		8.7	G1109
管 (函) 渠型側溝 (V型) 300*400 集水部	300*300 集水部	m		2.0	G1110
管渠工		1 式			YOH25202
横断函渠		1 式			YOH25202B1S
横断函渠	300*300 一般部	m		6.7	G1111
暗渠排水管		1 式			YOH25202B1Y
排水管設置	足場なし	m		4	SZE781
A=1					

07-11003700001-40

数量総括表 (設計書)

頁0-0006

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	摘 要
集水溝・マンホール工		1 式			YOH25203
プレキャスト街渠樹		1 式			YOH252035NQ
街渠樹(3)	300*400	箇所		1	G1112
街渠樹(4)	300*300	箇所		1	G1113
地下排水工		1 式			YOH25204
地下排水		1 式			YOH252044CM
地下排水溝 H=800	300*300 集水部	m		10.6	G1114
地下排水溝 H=900	300*300 集水部	m		41.2	G1115
地下排水溝 H=1085	300*300 集水部	m		10.6	G1116
構造物撤去工		1 式			YOH09
構造物取壊し工		1 式			YOH0921D
コンクリート構造物取壊し		1 式			YOH0921D43Y

07-11003700001-40

数量総括表 (設計書)

頁0-0007

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	摘 要
構造物とりこわし工 A=1, B=1, C=1, D=1, E=1	無筋構造物 機械施工 低騒音・低振動対策 不要	m 3		32	S4638
構造物とりこわし工 A=2, B=1, C=1, D=1, E=1	鉄筋構造物 機械施工 低騒音・低振動対策 不要	m 3		0.8	S4638
運搬処理工		1 式			YOH0921H0
搬運搬		1 式			YOH0921H0A0K
搬運搬 A=1, B=1, C=1, E=1, F=1, G=7	コンクリート(無筋)構造物とりこわし 8.0km以下	m 3		32	SZA961
搬運搬 A=2, B=1, C=1, E=1, F=1, G=7	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 8.0km以下	m 3		0.8	SZA961
処分分		1 式			YOH0921H0A0L
処分費 A=2	コンクリート (無筋)	m 3		32	S0020
処分費 A=1	コンクリート (鉄筋)	m 3		0.8	S0020
舗装		1 式			Y01ZZ
舗装工		1 式			Y0124
アスファルト舗装工		1 式			Y0124212

07-11003700001-40

数量総括表 (設計書)

頁0-0008

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	摘 要
下層路盤 (車道・路肩部)		1 式			Y0124212A1J
下層路盤 (車道・路肩部)	全仕上り厚 1 5 0 mm 1層施工	m 2		256	SZD005
A=150, B=1, D=4, E=1, F=1 上層路盤 (車道・路肩部)		1 式			Y0124212A1L
上層路盤 (車道・路肩部)	粒度調整碎石 全仕上り厚 1 5 0 mm	m 2		256	SZD009
A=2, D=150, E=1, H=6, L=1, M=1 表層 (車道・路肩部)		1 式			Y0124212A1S
表層 (車道・路肩部)	3.0m超 平均仕上り厚 5 0 mm	m 2		287	SZD023
A=4, B=50, C=1, D=2, E=24, F=2, H=1, I=1, J=1, K=1 区画線工		1 式			Y0133
区画線工		1 式			Y0133200
溶融式区画線		1 式			Y013320043T
区画線設置工	溶融式 (手動) 実線 1 5 c m [=1, J=1, K=1]	m		201	S4600
A=1, B=1, C=1, D=1, E=1, F=1, G=1, H=1, 区画線設置工	溶融式 (手動) 実線 4 5 c m [=2, J=1, K=1]	m		4	S4600
A=1, B=4, C=1, D=1, E=1, F=1, G=1, H=1, 区画線設置工	溶融式 (手動) 矢印・記号・文字 1 5 c m換算 [=2, J=1, K=1]	m		18.6	S4600

07-11003700001-40

数量総括表 (設計書)

頁0-0009

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	摘 要
道路付属施設工		1 式			Y0128
道路付属物工		1 式			Y012821C
防草工		1 式			Y012821C4B6
防草工 (2)		m 2		25	G1008
仮設工		1 式			Y0136
仮橋・仮橋工		1 式			Y0136201
仮橋上部		1 式			Y01362015FU
仮設PG部材一式賃料		日			F0007
仮設PID床版一式賃料		日			F0008
交通管理工		1 式			Y0136232
交通誘導警備員		1 式			Y0136232Y21
交通誘導警備員の計上	交通誘導警備員B	式		1	S0914

07-11003700001-40

数量総括表（設計書）

頁0-0012

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
L型側溝	300*300 集水部				G1108
L型側溝据付					S4128
A=1, B=1, D=1, E=1		m		10	
基面整正					SZA169
		m 2		5	
小計		m		10	
計		m		1	

07-11003700001-40

数量総括表（設計書）

頁0-0013

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
管(函)渠型側溝 (V型) 300*300 一般部	300*300 一般部				G1108
管(函)渠型側溝	据付 200mm以上300mm以下				SZA597
A=1, B=1, C=1, D=1, E=2		m		10	
基面整正					SZA169
		m 2		5	
小計		m		10	
計		m		1	

07-11003700001-40

数量総括表（設計書）

頁0-0014

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
管(函)渠型側溝 (V型) 300*300 集水部	300*300 集水部				G1107
管(函)渠型側溝 A=1, B=1, C=1, D=1, E=2	据付 200mm以上300mm以下	m		10	SZA597
基面整正		m ²		5	SZA169
小計		m		10	
計		m		1	

07-11003700001-40

数量総括表（設計書）

頁0-0015

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
管(函)渠型側溝 (V型) 300*400 一般部	300*300 集水部				G1109
管(函)渠型側溝 A=1, B=2, C=1, D=1, E=2	据付 300mmを超え400mm以下	m		10	SZA597
基面整正		m ²		5	SZA169
小計		m		10	
計		m		1	

07-11003700001-40

数量総括表（設計書）

頁0-0016

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
管(函)渠型側溝(V型) 300*400 集水部	300*300 集水部				G1110
管(函)渠型側溝 A=1, B=2, C=1, D=1, E=2	掘付 300mmを超え400mm以下	m		10	SZA597
基面整正		m ²		5	SZA169
小計		m		10	
計		m		1	

07-11003700001-40

数量総括表（設計書）

頁0-0017

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
横断函渠	300*300 一般部				G1111
管(函)渠型側溝 A=1, B=1, C=1, D=1, E=2	掘付 200mm以上300mm以下	m		10	SZA597
基面整正		m ²		9	SZA169
小計		m		10	
計		m		1	

07-11003700001-40

数量総括表（設計書）

頁0-0018

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	摘 要
街渠柵(3)	300*300 集水部				G1112
管 (函) 渠型側溝 A=1, B=2, C=1, D=1, E=2	据付 300mmを超え400mm以下	m		1	SZA597
現場打基礎コンクリート B=2, C=1, D=1, E=4, F=1, H=1, I=1	18-8-25 高炉 基礎碎石なし	m 3		0.02	SZA463
基面整正		m 2		0.5	SZA169
計		箇所		1	

07-11003700001-40

数量総括表（設計書）

頁0-0019

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	摘 要
街渠柵(4)	300*300 集水部				G1113
管 (函) 渠型側溝 A=1, B=1, C=1, D=1, E=2	据付 200mm以上300mm以下	m		1	SZA597
現場打基礎コンクリート B=2, C=1, D=1, E=4, F=1, H=1, I=1	18-8-25 高炉 基礎碎石なし	m 3		0.02	SZA463
基面整正		m 2		0.5	SZA169
計		箇所		1	

07-11003700001-40

数量総括表（設計書）

頁0-0020

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
地下排水溝 H=800	300*300 集水部				G1114
暗渠排水管	据付 波状管及び網状管	m		10	SZA589
ソケット	A=1, B=2, C=2, D=1, E=1	個		2.5	F0006
フィルター材	砕石各種	m 3		4.6	SZA593
吸出し防止材設置		m 2		21	SZA831
小計		m		10	
計		m		1	

07-11003700001-40

数量総括表（設計書）

頁0-0021

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
地下排水溝 H=900	300*300 集水部				G1115
暗渠排水管	据付 波状管及び網状管	m		10	SZA589
ソケット	A=1, B=2, C=2, D=1, E=1	個		2.5	F0006
フィルター材	砕石各種	m 3		5.4	SZA593
吸出し防止材設置		m 2		23	SZA831
小計		m		10	
計		m		1	

07-11003700001-40

数量総括表（設計書）

頁0-0022

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
地下排水溝 H=1085	300*300 集水部				G1116
暗渠排水管 A=1, B=2, C=2, D=1, E=1	据付 波状管及び網状管	m		10	SZA589
ソケット		個		2.5	F0006
フィルター材 B=7, D=1	砕石各種	m ³		7.1	SZA593
吸出し防止材設置		m ²		27	SZA831
小計		m		10	
計		m		1	

07-11003700001-40

数量総括表（設計書）

頁0-0023

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	摘 要
防草工 (2)					G1008
コンクリート A=1, B=3, E=2, K=1, L=2, M=1, O=1, P=1, Q=1, R=1	無筋・鉄筋構造物 バック材(クレーン機能付)打設	m ³		1	SZB401
基礎砕石 A=2	7.5cmを超え12.5cm以下 再生クラッシャーラン RC-40	m ²		10	SZA391
基面整正		m ²		10	SZA169
小計		m ²		10	
計		m ²		1	

07-11003700001-40

工事費内訳書

入札日 令和 年 月 日

商号又は名称
代表者の氏名
(代理人)

印
印)

工事名

工事箇所

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	金 額	備 考
＊ ＊ 本 工 事 ＊ ＊				
道路改良	1	式		
道路土工	1	式		
掘削工	1	式		
残土処理工	1	式		
地盤改良工	1	式		
置換工	1	式		
石・ブロック積（張）工	1	式		
作業土工	1	式		
コンクリートブロック工（C。ブロック積）	1	式		
排水構造物工	1	式		
作業土工	1	式		
側溝工	1	式		
管渠工	1	式		
集水樹・マンホール工	1	式		

注1）「費目・工種・施工名称など」欄には、設計書の「数量総括表」の工事区分、工種、種別に該当する項目の全て、及び共通仮設費、現場管理費、一般管理費について記入すること。
注2）共通仮設費については、合計金額のほか、内訳として運搬費、準備費、仮設費、事業損失防止施設費、安全費、役務費、技術管理費、営繕費のうち、当該工事で該当する項目全てについて記入すること。
注3）不明な点は事業主管課等に確認すること。

工事費内訳書

入札日 令和 年 月 日

商号又は名称
代表者の氏名
(代理人)

印
印)

工事名

工事箇所

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	金 額	備 考
地下排水工	1	式		
構造物撤去工	1	式		
構造物取壊し工	1	式		
運搬処理工	1	式		
舗装	1	式		
舗装工	1	式		
アスファルト舗装工	1	式		
区画線工	1	式		
区画線工	1	式		
道路付属施設工	1	式		
道路付属物工	1	式		
仮設工	1	式		
仮橋・仮栈橋工	1	式		
交通管理工	1	式		
＊ ＊ 直接工事費 ＊ ＊	1	式		

注1）「費目・工種・施工名称など」欄には、設計書の「数量総括表」の工事区分、工種、種別に該当する項目の全て、及び共通仮設費、現場管理費、一般管理費について記入すること。
注2）共通仮設費については、合計金額のほか、内訳として運搬費、準備費、仮設費、事業損失防止施設費、安全費、役務費、技術管理費、営繕費のうち、当該工事で該当する項目全てについて記入すること。
注3）不明な点は事業主管課等に確認すること。

工事名		工事箇所		
費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	金 額	備 考
共通仮設費（率分）	1	式		
＊＊共通仮設費計＊＊	1	式		
＊＊純工事費＊＊	1	式		
現場管理費	1	式		
＊＊工事原価＊＊	1	式		
一般管理費等	1	式		
契約保証費	1	式		
＊＊一般管理費等計＊＊	1	式		
＊＊工事価格＊＊	1	式		
＊＊工事価格計＊＊	1	式		

注1)「費目・工種・施工名称など」欄には、設計書の「数量総括表」の工事区分、工種、種別に該当する項目の全て、及び共通仮設費、現場管理費、一般管理費について記入すること。

注2)共通仮設費については、合計金額のほか、内訳として運搬費、準備費、仮設費、事業損失防止施設費、安全費、役務費、技術管理費、営繕費のうち、当該工事で該当する項目全てについて記入すること。

注3)不明な点は事業主管課等に確認すること。

工事及び業務名 道路改良工事(市道泉・長井1号線)分割2号

(備考)

1 本表に掲載されている単価は、見積りおよび特別調査により決定したものである。

2 適用区分に○印があるものは、下記の価格を示す。

「機」機械器具等の損料または賃料

「労」労務費

「材」材料費

数量総括表

市道泉・長井1号線

数量計算書

市道泉・長井1号線

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	数 量	摘 要
道路改良	道路土工	掘削工	掘削		m3	664	
		残土処理工	土砂等運搬		m3	648	
			残土等処分		m3	648	
	地盤改良工	置換工	置換	路床置換工（有効層） t=50cm	m3	69	
				路床置換工（無効層） t=20cm	m3	27	
	石・ブロック 積（張）工	作業土工	床掘		m3	28	
			埋戻し		m3	10	
		コンクリート ブロック工	コンクリートブロック基礎	18N/mm2-8-40 控350	m3	3	
			基礎材	コンクリートシール	m3	0.5	t=7cm
			コンクリートブロック積	間知ブロック積	m2	99	
		胴込・裏込コンクリート	胴込コンクリート	18N/mm2-8-25	m3	19	
			裏込コンクリート	18N/mm2-8-25	m3	15	
		胴込・裏込材（碎石）	胴込・裏込材（碎石）	RC-80	m3	22	
			目地材	t=20	m2	9	
			水抜きパイプ	VPφ50	m	20	2㎡に1箇所
		吸出防止材設置		300×300×20	m2	3	
		仮設工	足場工	H=2.0m以上	式	1	99掛m2
		天端コンクリート		18N/mm2-8-25	m3	2	

数量計算書

市道泉・長井1号線

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	数 量	摘 要
道路改良	排水構造物工	作業土工	床掘		m ³	25	
			埋戻し		m ³	5	
		側溝工	L型側溝		m	10.7	
			函渠型側溝	V型 300x300 一般部	m	37.2	
				V型 300x300 集水部	m	2.0	
				V型 300x400 一般部	m	8.7	
				V型 300x400 集水部	m	2.0	
		管渠工	横断函渠	300x300	m	6.7	
			VU管	φ 300	m	4.0	
		集水樹工	街渠樹	V型 300x400	箇所	1	管渠型側溝樹部
				L型 300x300	箇所	1	管渠型側溝樹部
		地下排水工	地下排水溝	H=800 φ 300	m	10.6	
			地下排水溝	H=900 φ 300	m	41.2	
			地下排水溝	H=1085 φ 300	m	10.6	
	構造物撤去工	構造物取壊し工	コンクリート構造物取壊し	無筋	m ³	32	
				有筋	m ³	0.8	
			殻運搬	無筋 運搬距離 L=7.0km	m ³	32	
				有筋 運搬距離 L=7.0km	m ³	0.8	
			殻処分	無筋 処分費	m ³	32	
				処分費 有筋	m ³	0.8	

数量計算書

市道泉・長井1号線

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	数 量	摘 要
	舗装工	車道舗装	下層路盤工	再生骨材(RC-40) t=15cm	m2	256	
			上層路盤工	粒調碎石(M0~40) t=15cm	m2	256	
			表層工	エコスラグ入り再生密粒層アスコン(20)-60 t=5cm	m2	287	
648	区画線工	区画線工	溶融式区画線	白色実線(W=15cm)	m	201	
				白色実線(W=45cm)	m	4	
				白色実線文字(止まれ) (W=15cm換算長)	m	18.6	
	道路付属施設工	防草工	防草工(2)	t=10cm	m2	25	
	仮設工	仮橋・仮栈橋工	仮橋上部	仮設PG部材賃料	日	183	
			覆工板設置・撤去工	仮設PLD床版賃料	日	183	
		交通管理工	交通誘導警備員	交通誘導警備員B	式	1	

道 路 土 工

市道泉・長井1号線

土工数量集計表

市道泉・長井1号線

[illegible]

土 量 計 算 書

市道泉・長井1号線

測 点	距 離	土 工						摘 要
		掘 削			路体盛土(W<2.5)			
		断面積	平均断面	土量	断面積	平均断面	土量	
					(県民の森矢板線交差区間NO. 6+8. 8～NO. 8+13. 5)			
8 + 13. 500		37. 7						
9 + 0. 000	6. 5	37. 7	37. 70	245. 1		0. 00	0. 0	
9 + 1. 431	1. 4	36. 0	36. 85	51. 6		0. 00	0. 0	
9 + 10. 050	8. 6	39. 3	37. 65	323. 8	0. 0	0. 00	0. 0	
9 + 14. 000	3. 9	0. 0	19. 65	76. 6	0. 0	0. 00	0. 0	
計	20. 4			697. 1			0. 0	

地盤改良工

市道泉・長井1号線

地盤改良工数量集計表

市道泉・長井1号線

[illegible]

土 量 計 算 書

市道泉・長井1号線

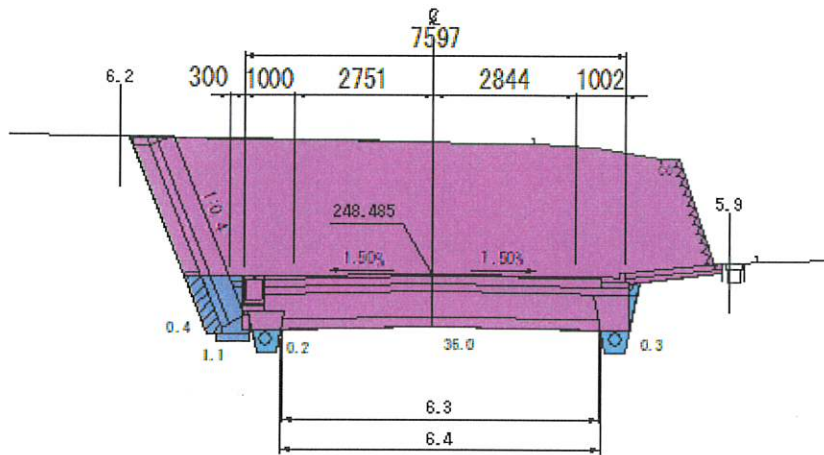
測 点	距 離	土 工						摘 要
		路床置換有効層 (t=50cm)			路床置換無効層 (t=20cm)			
		長さ	平均長さ	面積	長さ	平均長さ	面積	
					(県民の森矢板線交差区間NO. 6+8.8～NO. 8+13.5)			
8 + 13.500		6.4			6.5			NO. 9+0.000流用
9 + 0.000	6.5	6.4	6.40	41.6	6.5	6.50	42.3	
9 + 1.431	1.4	6.3	6.35	8.9	6.4	6.45	9.0	
9 + 15.000	13.6	6.4	6.35	86.4	6.2	6.30	85.7	
計	21.5			136.9			137.0	m2
容量 V				68.5			27.4	m3
計				68.5			27.4	m3

土工数量算出根拠図

市道泉・長井1号線

KA.2-1 (NO.9+1.431)

GH=251.08
FH=248.485



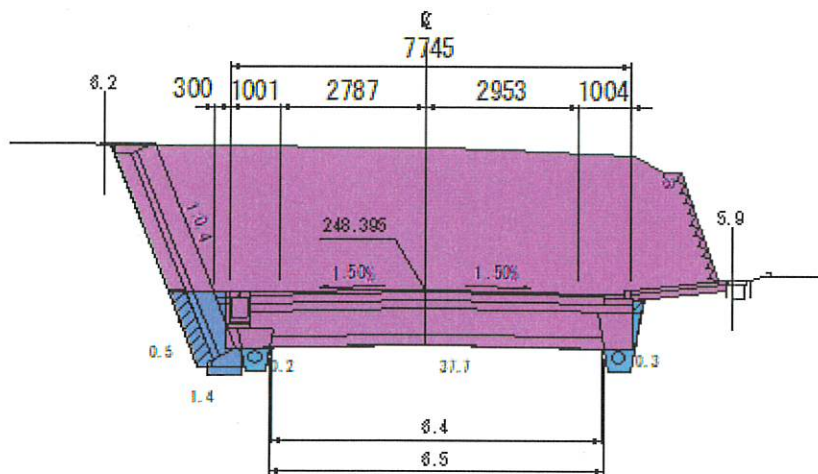
種別	数量
掘削	オープン 36.0 m ³
片切り	0.0 m ³
路体盛土	W<2.5 0.0 m ³
	2.5≤W<4.0 0.0 m ³
	W≥4.0 0.0 m ³
歩道盛土	0.0 m ³
路肩盛土	0.0 m ³
路床盛土	0.0 m ³
置換工	路床置換有効層 6.3 m
	路床置換無効層 6.4 m
のり面	切土法 左 0.0 m
	右 0.0 m
	盛土法 左 0.0 m
	右 0.0 m

種別	数量
水路	床掘り 0.5 m ³
路	埋戻し 0.0 m ³

種別	数量
掘削	床掘り 1.1 m ³
埋戻し	0.4 m ³

NO.9

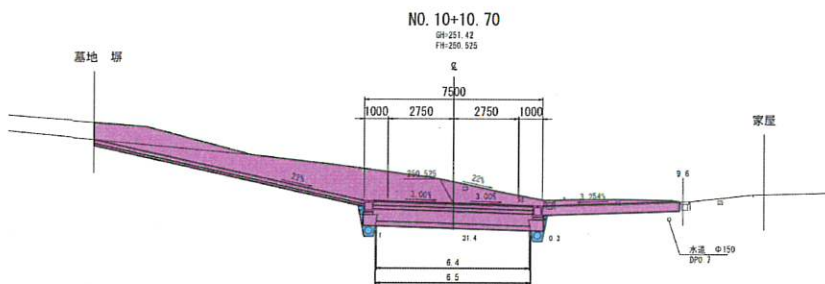
GH=251.12
FH=248.395



種別	数量
掘削	オープン 37.7 m ³
片切り	0.0 m ³
路体盛土	W<2.5 0.0 m ³
	2.5≤W<4.0 0.0 m ³
	W≥4.0 0.0 m ³
歩道盛土	0.0 m ³
路肩盛土	0.0 m ³
路床盛土	0.0 m ³
置換工	路床置換有効層 6.4 m
	路床置換無効層 6.5 m
のり面	切土法 左 0.0 m
	右 0.0 m
	盛土法 左 0.0 m
	右 0.0 m

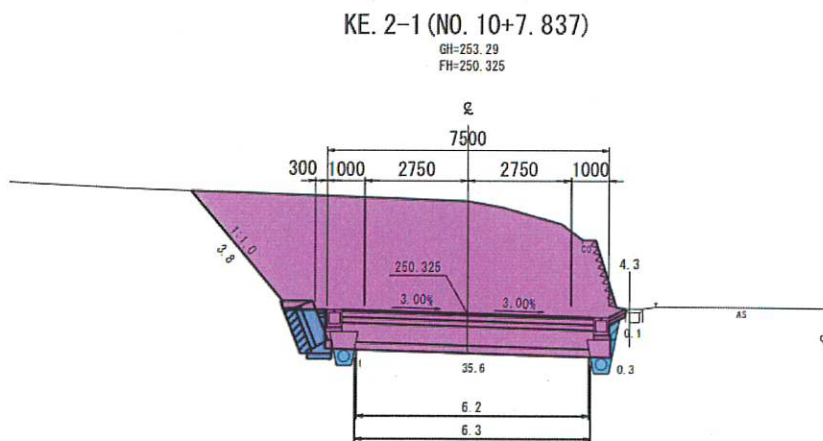
種別	数量
水路	床掘り 0.5 m ³
路	埋戻し 0.0 m ³

種別	数量
掘削	床掘り 1.4 m ³
埋戻し	0.5 m ³



種 別		数 量
掘 削	オープン	31.4 m ³
	片 切 り	0.0 m ³
盛 土	路 体	W<2.5 0.0 m ³
		2.5≤W<4.0 0.0 m ³
		W≥4.0 0.0 m ³
	歩道盛土	0.0 m ³
	路肩盛土	0.0 m ³
土	路床盛土	0.0 m ³
	路床盛土	0.0 m ³
高 換 工	路床置換有効層	6.4 m
	路床置換無効層	6.5 m
の 切 土 法 面	左	0.0 m
	右	0.0 m
	左	0.0 m
	右	0.0 m

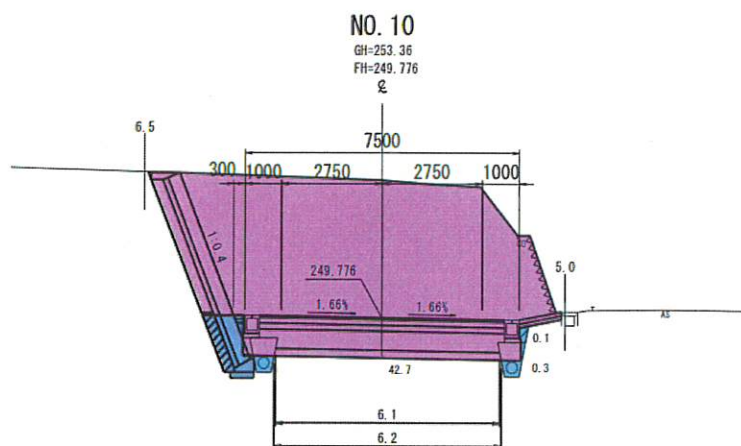
種 別		数 量
水	床 掘 り	0.3 m ³
路	埋 戻 し	0.0 m ³



種 別		数 量
掘 削	オープン	35.6 m ³
	片 切 り	0.0 m ³
盛 土	路 体	W<2.5 0.0 m ³
		2.5≤W<4.0 0.0 m ³
		W≥4.0 0.0 m ³
	歩道盛土	0.0 m ³
	路肩盛土	0.0 m ³
土	路床盛土	0.0 m ³
	路床盛土	0.0 m ³
高 換 工	路床置換有効層	6.2 m
	路床置換無効層	6.3 m
の 切 土 法 面	左	3.8 m
	右	0.0 m
	左	0.0 m
	右	0.0 m

種 別		数 量
水	床 掘 り	0.3 m ³
路	埋 戻 し	0.1 m ³

種 別		数 量
換	床 掘 り	0.0 m ³
壁	埋 戻 し	0.0 m ³



種 別		数 量
掘 削	オープン	42.7 m ³
	片 切 り	0.0 m ³
盛 土	路 体	W<2.5 0.0 m ³
		2.5≤W<4.0 0.0 m ³
		W≥4.0 0.0 m ³
	歩道盛土	0.0 m ³
	路肩盛土	0.0 m ³
土	路床盛土	0.0 m ³
	路床盛土	0.0 m ³
高 換 工	路床置換有効層	6.1 m
	路床置換無効層	6.2 m
の 切 土 法 面	左	0.0 m
	右	0.0 m
	左	0.0 m
	右	0.0 m

種 別		数 量
水	床 掘 り	0.3 m ³
路	埋 戻 し	0.1 m ³

種 別		数 量
換	床 掘 り	0.0 m ³
壁	埋 戻 し	0.0 m ³

石・ブロック積（張）工

市道泉・長井1号線

石・ブロック積（張）工数量集計表

レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	ブロック積擁壁 工 8+14.47~9+15	摘 要
石・ブロック積 (張) 工	作業土工	床掘		m3	28	
		埋戻し		m3	10	
	コンクリート ブロック工	コンクリートブロック基礎	現場打基礎コンクリート 18N/mm2-8-40	m	3	
		基礎材	コンクリートシール	m3	0.5	t=7cm
		コンクリートブロック積	間知ブロック積	m2	99	
		胴込・裏込コンクリート	胴込コンクリート 18N/mm2-8-25	m3	19	
			裏込コンクリート 18N/mm2-8-25	m3	15	
		胴込・裏込材（砕石）	胴込・裏込材（砕石） RC-80	m3	22	
			目地材 t=20	m2	9	
			水抜きパイプ VPφ50	m	20	2m ² に1箇所
		吸出防止材設置	300×300×20	m2	3	
		仮設工	足場工 H=2.0m以上	式	1	58掛m2
		天端コンクリート	現場打天端コンクリート 18N/mm2-8-25	m3	2	

土 量 計 算 書

測 点	延長	ブロック積擁壁工 土工						摘 要
		床 掘			埋 戻 し			
		断面積	平均断面	土 量	断面積	平均断面	土 量	
8+14.47~9+15								
8 + 14.470		1.4			0.5			市No. 9+0.0断面より
9 + 0.000	6.490	1.4	1.40	9.1	0.5	0.50	3.2	
9 + 1.431	1.430	1.1	1.25	1.8	0.4	0.45	0.6	
9 + 15.000	13.570	1.4	1.25	17.0	0.5	0.45	6.1	

一式

[illegible]

コンクリートブロック計算

前面勾配

1:0.400

前面斜比

 $\sqrt{(1+0.400^2)}=$

1.077

番号	延長(m)			直高(m)			直面積 (m ²) A1	斜面積 (m ²) A2	備考
	天端 L1	基礎 L2	平均 L	始点 H1	終点 H2	平均 H			
1	6.040	6.490	6.265	4.010	3.910	3.960	24.809	26.719	足場工
2	1.430	1.430	1.430	3.530	3.520	3.525	5.041	5.429	足場工
3	2.900	2.900	2.900	3.520	3.520	3.520	10.208	10.994	足場工
4	0.670	0.670	0.670	3.520	4.530	4.025	2.697	2.905	足場工
5	0.600	0.600	0.600	4.080	5.000	4.540	2.724	2.934	足場工
6	4.430	4.430	4.430	5.000	5.000	5.000	22.150	23.856	足場工
7	5.050	5.050	5.050	4.760	4.860	4.810	24.291	26.161	足場工
合計	21.120	21.570					91.920	98.998	

$$L = (L1 + L2) \div 2$$

$$H = (H1 + H2) \div 2$$

$$A1 = L \times H$$

$$A2 = A1 \times \text{前面斜比}$$

コンクリートブロック面積

$$= 98.998 \text{ m}^2$$

(1) 基礎工

コンクリートブロック計算より

基礎工

L

V

$$21.570 \times 1.36 \text{ m}^2 = 29.33 \text{ m}^3$$

(2) コンクリートシール計算

① コンクリートシール面積計算 (始点側)

前面勾配 1:0.400

背面勾配 1:0.400

前面斜比 1.077

コンクリートシール厚 0.070 m

裏込め材厚(上端) 0.300 m

裏込め材上端高 0.180 m

番号	直高 H (m)	根入れ h (m)	設置高 z (m)	止水コン 上端幅 L1 (m)	止水コン 下端幅 L2 (m)	止水コン 面積 AL (m ²)
1	4.010	0.690	0.000	0.323	0.323	0.023
2	3.530	0.690	0.000	0.323	0.323	0.023
3	3.520	0.780	0.000	0.323	0.323	0.023
4	3.520	0.990	0.000	0.323	0.323	0.023
5	4.080	0.590	0.000	0.323	0.323	0.023
6	5.000	0.630	0.000	0.323	0.323	0.023
7	4.760	0.590	0.000	0.323	0.323	0.023

z: 設置高 (地盤高から裏込め材下端までの高さ)

$$L1 = \text{前面斜比} \times \text{裏込め材厚(上端)} + (\text{前面勾配} - \text{背面勾配}) \times (H - \text{裏込め材上端高} - h - z - \text{止水コンクリート厚})$$

$$L2 = \text{前面斜比} \times \text{裏込め材厚(上端)} + (\text{前面勾配} - \text{背面勾配}) \times (H - \text{裏込め材上端高} - h - z)$$

$$AL = (L1 + L2) \times \text{止水コンクリート厚} \div 2$$

②コンクリートシール面積計算（終点側）

前面勾配 1:0.400

背面勾配 1:0.400

前面斜比 1.077

コンクリートシール厚 0.070 m

裏込め材厚(上端) 0.300 m

裏込め材上端高 0.180 m

番号	直高 H (m)	根入れ h (m)	設置高 z (m)	止水コン 上端幅 L1 (m)	止水コン 下端幅 L2 (m)	止水コン 面積 AR (m2)
1	3.910	1.070	0.000	0.323	0.323	0.023
2	3.520	0.780	0.000	0.323	0.323	0.023
3	3.520	0.990	0.000	0.323	0.323	0.023
4	4.530	1.040	0.000	0.323	0.323	0.023
5	5.000	0.630	0.000	0.323	0.323	0.023
6	5.000	0.830	0.000	0.323	0.323	0.023
7	4.860	0.970	0.000	0.323	0.323	0.023

z：設置高（地盤高から裏込め材下端までの高さ）

L1＝前面斜比×裏込め材厚(上端)＋（前面勾配－背面勾配）×（H－裏込め材上端高－h－z－止水コンクリート厚）

L2＝前面斜比×裏込め材厚(上端)＋（前面勾配－背面勾配）×（H－裏込め材上端高－h－z）

AR＝（L1＋L2）×止水コンクリート厚÷2

③コンクリートシール体積計算

番号	延長 基礎(m) L	コンクリートシール面積(m2)			止水コン 体積(m3) V
		始点 AL	終点 AR	平均 A	
1	6.490	0.023	0.023	0.023	0.149
2	1.430	0.023	0.023	0.023	0.033
3	2.900	0.023	0.023	0.023	0.067
4	0.670	0.023	0.023	0.023	0.015
5	0.600	0.023	0.023	0.023	0.014
6	4.430	0.023	0.023	0.023	0.102
7	5.050	0.023	0.023	0.023	0.116
合計					0.496

L：コンクリートブロック計算より

AL：コンクリートシール面積（始点側）より

AR：〃面積（終点側）より

A＝（AL＋AR）÷2

V＝L×A

コンクリートシール V＝ 0.496 m3

(3)間知ブロック積

間知ブロック面積 98.998 m2（コンクリートブロック計算より）

(4) 胴込コンクリート計算

コンクリートブロック面積 98.998 m² (コンクリートブロック計算より)

胴込めコンクリート係数 0.190

胴込めコンクリート $V = 98.998 \times 0.190 = 18.810 \text{ m}^3$

(5) 裏込めコンクリート計算

コンクリートブロック面積 98.998 m² (コンクリートブロック計算より)

裏込めコンクリート厚 0.150 m

裏込めコンクリート $V = 98.998 \times 0.150 = 14.850 \text{ m}^3$

(6) 胴込・裏込材 (砕石)

① 裏込め材面積計算 (始点側)

前面勾配 1:0.400
 背面勾配 1:0.400
 前面斜比 1.077

裏込め材厚(上端) 0.300 m

天端コンクリート厚 0.180 m

番号	直高 H (m)	根入れ h (m)	設置高 z (m)	裏込め材 上端幅 L1 (m)	裏込め材 下端幅 L2 (m)	裏込め材 面積 AL (m ²)
1	4.010	0.690	0.000	0.323	0.323	1.014
2	3.530	0.690	0.000	0.323	0.323	0.859
3	3.520	0.780	0.000	0.323	0.323	0.827
4	3.520	0.990	0.000	0.323	0.323	0.759
5	4.080	0.590	0.000	0.323	0.323	1.069
6	5.000	0.630	0.000	0.323	0.323	1.353
7	4.760	0.590	0.000	0.323	0.323	1.289

z: 設置高 (地盤高から裏込め材下端までの高さ)

L1 = 前面斜比 × 裏込め材厚(上端)

L2 = 前面斜比 × 裏込め材厚(上端) + (前面勾配 - 背面勾配) × (H - h - z - 天端コンクリート厚)

AL = (L1 + L2) × (H - h - z - 天端コンクリート厚) ÷ 2

② 裏込め材面積計算 (終点側)

前面勾配 1:0.400

背面勾配 1:0.400

前面斜比 1.077

裏込め材厚(上端) 0.300 m

天端コンクリート厚 0.180 m

番号	直高 H (m)	根入れ h (m)	設置高 z (m)	裏込め材 上端幅 L1 (m)	裏込め材 下端幅 L2 (m)	裏込め材 面積 AR (m ²)
1	3.910	1.070	0.000	0.323	0.323	0.859
2	3.520	0.780	0.000	0.323	0.323	0.827
3	3.520	0.990	0.000	0.323	0.323	0.759
4	4.530	1.040	0.000	0.323	0.323	1.069
5	5.000	0.630	0.000	0.323	0.323	1.353
6	5.000	0.830	0.000	0.323	0.323	1.289
7	4.860	0.970	0.000	0.323	0.323	1.198

z: 設置高 (地盤高から裏込め材下端までの高さ)

L1=前面斜比×裏込め材厚(上端)

L2=前面斜比×裏込め材厚(上端)+(前面勾配-背面勾配)×(H-h-z-天端コンクリート厚)

AR=(L1+L2)×(H-h-z-天端コンクリート厚)÷2

③裏込め材体積計算

番号	延長 平均(m) L	裏込め材面積(m ²)			裏込め材 体積(m ³) V
		始点 AL	終点 AR	平均 A	
1	6.265	1.014	0.859	0.937	5.870
2	1.430	0.859	0.827	0.843	1.205
3	2.900	0.827	0.759	0.793	2.300
4	0.670	0.759	1.069	0.914	0.612
5	0.600	1.069	1.353	1.211	0.727
6	4.430	1.353	1.289	1.321	5.852
7	5.050	1.289	1.198	1.244	6.282
合計					22.848

L: コンクリートブロック計算より

AL: 裏込め材面積計算(始点側)より

AR: " (終点側)より

A=(AL+AR)÷2

V=L×A

コンクリートシール 0.496 m³ (コンクリートシール計算より)

裏込め材 V= 22.848 - 0.496 = 22.352 m³

(7)目地材計算

前面斜比 1.077

控え 0.350 m

裏込めコンクリート厚 0.150 m

番号	目地高 H (m)	のり長 L (m)	面積 A (m ²)	備考
2	3.530	3.802	1.901	始点
5	4.080	4.394	2.197	始点
7	4.760	5.127	2.564	始点
8	4.650	5.008	2.504	始点
合計			9.166	

L=前面斜比×H

A=(控え+裏込めコンクリート厚)×L

目地材面積 A= 9.166 m²

(8) 水抜きパイプ計算

前面斜比	1.077	
控え	0.350 m	
裏込めコンクリート厚	0.150 m	
コンクリートシール厚	0.070 m	
水抜きパイプ設置密度	2.000m ² /箇所	
コンクリートブロック面積	98.998 m ²	(コンクリートブロック計算より)
1箇所当りの水抜きパイプ長	$(0.350 + 0.150) \times 1.077 = 0.539 \text{ m}$	

<控除面積計算表>

番号	延長(m) 基礎 L1	控除高(m)			直面積 (m ²) A1	斜面積 (m ²) A2
		始点 H1	終点 H2	平均 H1		
1	6.490	0.890	1.270	1.080	7.009	7.549
2	1.430	0.890	0.980	0.935	1.337	1.440
3	2.900	0.980	1.190	1.085	3.147	3.389
4	0.670	1.190	1.240	1.215	0.814	0.877
5	0.600	0.790	0.830	0.810	0.486	0.523
6	4.430	0.830	1.030	0.930	4.120	4.437
7	5.050	0.790	1.170	0.980	4.949	5.330
合計						23.545

控除高：根入れ高＋水抜きパイプ設置高

設置対象面積A＝コンクリートブロック面積－控除面積

$$A = 98.998 - 23.545 = 75.453 \text{ m}^2$$

$$\text{設置箇所 } 1 \quad N = 75.453 \div 2 = 38 \text{ 箇所}$$

$$\text{水抜きパイプ } L = 38 \times 0.539 = 20.335 \text{ m}$$

(9) 吸出防止材計算

$$\text{吸出防止材 } A = 0.300 \times 0.300 \times 38 = 3.395 \text{ m}^2$$

(10) 天端工

コンクリートブロック計算より

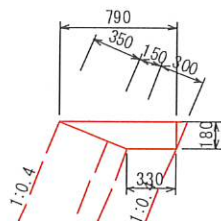
$$\begin{array}{lcl} \text{天端工} & L & = 21.120 \text{ m} \\ & V & 21.120 \times 1.01 = 2.13 \end{array}$$

足場工 (H=2.0m以上)

$$\text{足場工 } \text{コンクリートブロック計算より} = 98.998 \text{ 掛m}^2$$

天端工単位数量計算書

10m 当り

(1) コンクリート (18N/mm²-8-25)

$$V = (0.790 + 0.330) \times 0.180 \div 2 \times 10.0 = 1.01 \text{ m}^3$$

(2) 型枠

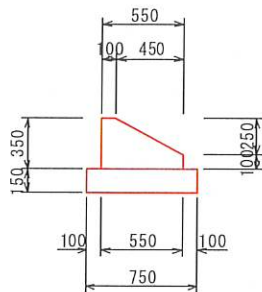
$$A = 0.180 \times 10.0 = 1.80 \text{ m}^2$$

(3) 目地材 (t=20)

$$A = (0.790 + 0.330) \times 0.180 \div 2 = 0.10 \text{ m}^2$$

基礎工単位数量計算書

10m 当り

(1) コンクリート (18N/mm²-8-40)

$$V = (0.550 \times 0.350 - 0.450 \times 0.250 \div 2) \times 10 = 1.36 \text{ m}^3$$

(2) 型枠

$$A = (0.350 + 0.100) \times 10 = 4.50 \text{ m}^2$$

(3) 目地材 (t=20)

$$A = 0.550 \times 0.350 - 0.450 \times 0.250 \div 2 = 0.14 \text{ m}^2$$

(4) 基礎材 (RC-40)

$$A = 0.750 \times 10 = 7.50 \text{ m}^2$$

(5) 基面整正

$$A = 0.750 \times 10 = 7.50 \text{ m}^2$$

排水構造物工

市道泉・長井1号線

排水構造物工数量集計表

市道泉・長井1号線

レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	数 量	摘 要
排水構造物工	作業土工	床掘		m3	25	
		埋戻し		m3	5	
		残土		m2	20	
	側溝工	L型側溝		m	10.7	
	側溝工	函渠型側溝	V型 300x300 一般部	m	37.2	
			V型 300x400 集水部	m	2.0	
			V型 300x400 一般部	m	8.7	
			V型 300x400 集水部	m	2.0	
	管渠工	VU管	φ 300	m	4.0	
		横断函渠	300x300	m	6.7	
	集水枳工	街渠枳	V型 300x400	箇所	1.0	
		街渠枳	L型 300x300	箇所	1.0	
	地下排水工	地下排水溝	H=800 φ 300	m	10.6	
		地下排水溝	H=900 φ 300	m	41.2	
		地下排水溝	H=1085 φ 300	m	10.6	

小構造物掘削土工集計表

市道泉・長井1号線

名	称	単位	数	量	単位	単位当り数量				数				量
						床掘 m3	埋戻し m3	残土 m3	基面整正 m2	床掘 m3	埋戻し m3	残土 m3	基面整正 m2	
	L型側溝	m	10.7	10					5.500					5.885
	函渠型側溝 (V型) 300x300	m	39.2	10					4.500					17.640
	函渠型側溝 (V型) 300x400	m	10.7	10					4.500					4.815
	VU管 φ 300	m	4.0	10		5.729	0.901	4.828	8.500	2.292	0.360	1.931		3.400
	N0.9+4.5 横断函渠300x300	式	1.0	1		3.622	1.764	1.858	5.762	3.622	1.764	1.858		5.762
	街渠柵 (3)	箇所	1.0	1		0.954	0.720	0.234	0.500	0.954	0.720	0.234		0.500
	街渠柵 (4)	箇所	1.0	1		0.893	0.680	0.213	0.500	0.893	0.680	0.213		0.500
	地下排水溝 (H=800) φ 300	m	10.6	10					5.000					5.300
	地下排水溝 (H=900) φ 300	m	41.2	10					5.000					20.600
	地下排水溝 (H=1085) φ 300	m	10.6	10					5.000					5.300
	作業土工 (排水) (横断土工より)	式	1.0	1						17.100	1.600	15.500		
	計									24.861	5.124	19.736		69.702
	合 計									24.861	5.124	19.736		69.702

土 量 計 算 書

市道泉・長井1号線、長井・幸岡1号線

測 点	距 離	作業土工(排水)						摘 要
		床掘り			埋戻し			
		断面積	平均断面	土量	断面積	平均断面	土量	
8 + 13.500		0.5			0.0			NO. 9+0.000流用
9 + 0.000	6.5	0.5	0.50	3.3	0.0	0.00	0.0	
9 + 1.431	1.4	0.5	0.50	0.7	0.0	0.00	0.0	
9 + 15.000	13.6	0.5	0.50	6.8	0.0	0.00	0.0	
10 + 0.000	5.0	0.3	0.40	2.0	0.1	0.05	0.3	
10 + 7.837	7.8	0.3	0.30	2.3	0.1	0.10	0.8	
10 + 10.700	2.9	0.3	0.30	0.9	0.1	0.10	0.3	
10 + 14.200	3.5	0.3	0.30	1.1	0.0	0.05	0.2	
</								

構造物位置および延長(箇所)調書

市道泉・長井1号線、長井・幸岡1号線

L型側溝

[illegible]

[illegible][illegible][illegible][illegible]

構造物位置および延長(箇所)調書

市道泉・長井1号線、長井・幸岡1号線

函渠型側溝 (V型) 300x400

[illegible]

[illegible][illegible][illegible][illegible]

[illegible][illegible][illegible][illegible]

構造物位置および延長(箇所)調書

市道泉・長井1号線、長井・幸岡1号線

街渠枰(V型)300x400

[illegible]

構造物位置および延長(箇所)調書

市道泉・長井1号線、長井・幸岡1号線

街渠枋 (L型) 300x300

[illegible]

構造物位置および延長(箇所)調書

市道泉・長井1号線、長井・幸岡1号線

地下排水溝(H=800) ϕ 300

[illegible]

構造物位置および延長(箇所)調書

市道泉・長井1号線、長井・幸岡1号線

地下排水溝(H=900) φ 300

[illegible]

構造物位置および延長(箇所)調書

市道泉・長井1号線、長井・幸岡1号線

地下排水溝 (H=1085) $\phi 300$

[illegible]

構造物撤去工

市道泉・長井1号線

市道泉・長井1号線

[illegible]

Co廃材処分集計表

市道泉・長井1号線

建設廃材	細目	単位当り数量			数量				参照頁
		箇所・m	有筋体積(m3)	無筋体積(m3)	箇所・m・m2	厚さ(m)	無筋体積(m3)	有筋体積(m3)	
ブロック積擁壁撤去	H=2.0m	10		14.918	21.5		32.07		
U型側溝撤去	250*250	10	1.400		5.4			0.76	
合 計							32	0.8	

[illegible][illegible][illegible][illegible]

[illegible]

市道泉・長井1号線、長井・幸岡1号線

U-250x250撤去

[illegible]

撤去単位数量計算書

市道泉・長井1号線

舗 装 工

市道泉・長井1号線

舗装工数量集計表

市道泉・長井1号線

[illegible]

鋪 裝 計 算 書

市道泉・長井1号線

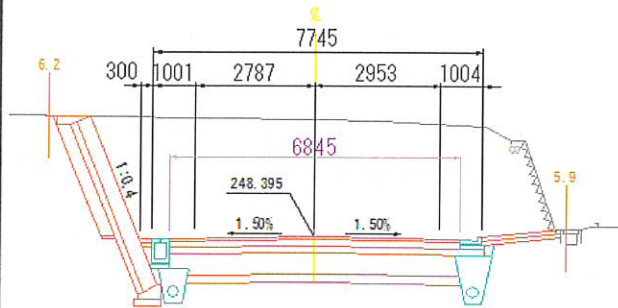
測点	距離	車道舗装						摘要
		下層路盤・上層路盤			表層・基層			
		幅	平均幅	面積	幅	平均幅	面積	
9 + 5.000		6.7			6.7			No. 9+1.43I流用
10 + 0.000	15.0	6.7	6.70	100.5	6.7	6.70	100.5	
10 + 7.837	7.8	6.7	6.70	52.3	6.7	6.70	52.3	
10 + 10.700	2.9	6.8	6.75	19.6	6.8	6.75	19.6	
11 + 0.000	9.3				0.0	3.40	31.6	
車道舗装(舗装根拠平面図より)								
A2 (No. 8+13.5~No. 9+5.00)				83.2			83.2	
小計				255.6			287.2	

舗装工数量算出根拠図

市道泉・長井1号線

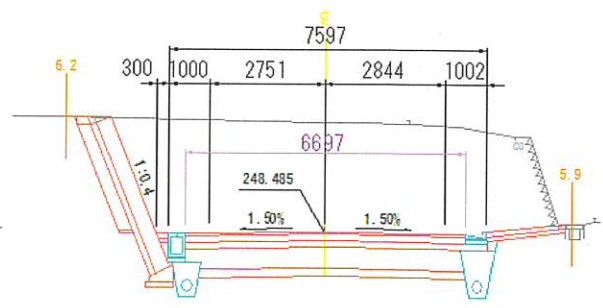
NO. 9

GH=251.12
FH=248.395



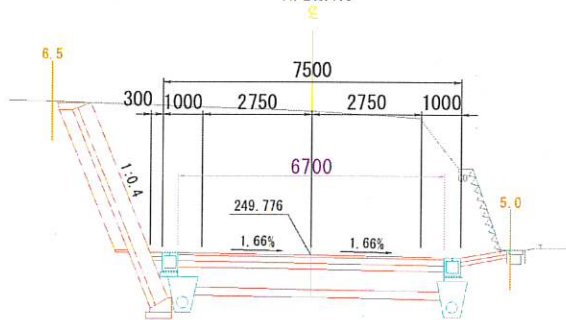
KA.2-1 (NO. 9+1.431)

GH=251.08
FH=248.485



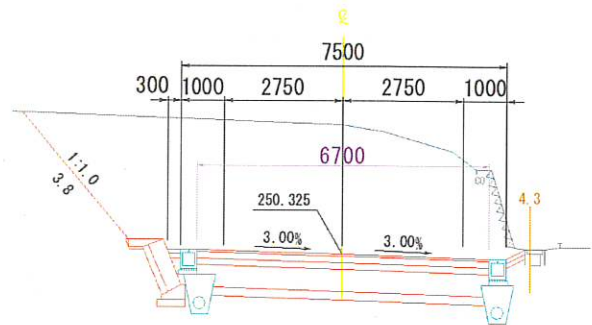
NO. 10

GH=253.36
FH=249.776



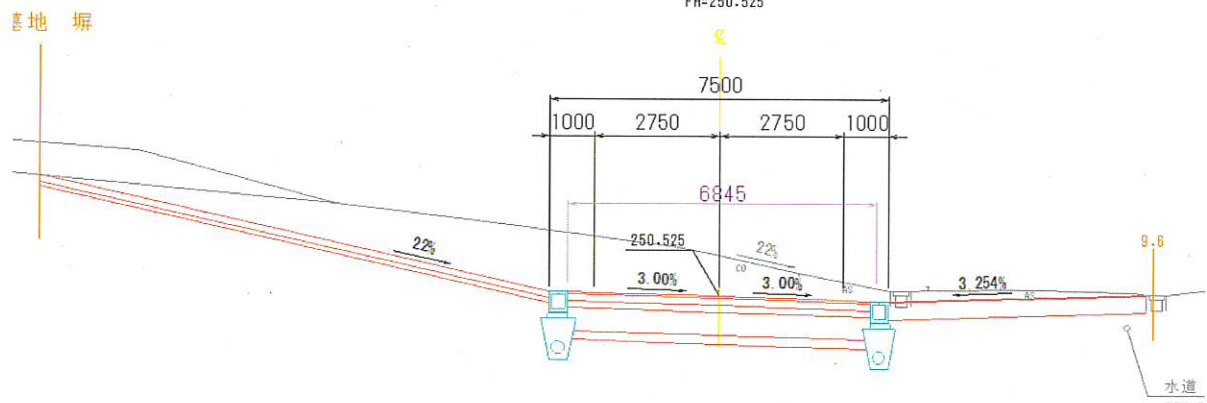
KE. 2-1 (NO. 10+7.837)

GH=253.29
FH=250.325



NO. 10+10.70

GH=251.42
FH=250.525



区画線工

市道泉・長井1号線

区画線工数量集計表

市道泉・長井1号線

[illegible]

[illegible][illegible][illegible][illegible]

[illegible][illegible][illegible][illegible]

[illegible]

市道泉・長井1号線、長井・幸岡1号線

白色実線文字(止まれ)(W=15cm換算長)

[illegible]

道路付属施設工

市道泉・長井1号線

道路付属施設工数量集計表

市道泉・長井1号線

[illegible]

[illegible][illegible][illegible][illegible]

防草工(2)計算書

[illegible]

圖 面 目 録

工事名：道路改良工事（市道泉・長井1号線）分割2号

箇所名：矢板市長井地内

[illegible]

計画平面図 S=1:500

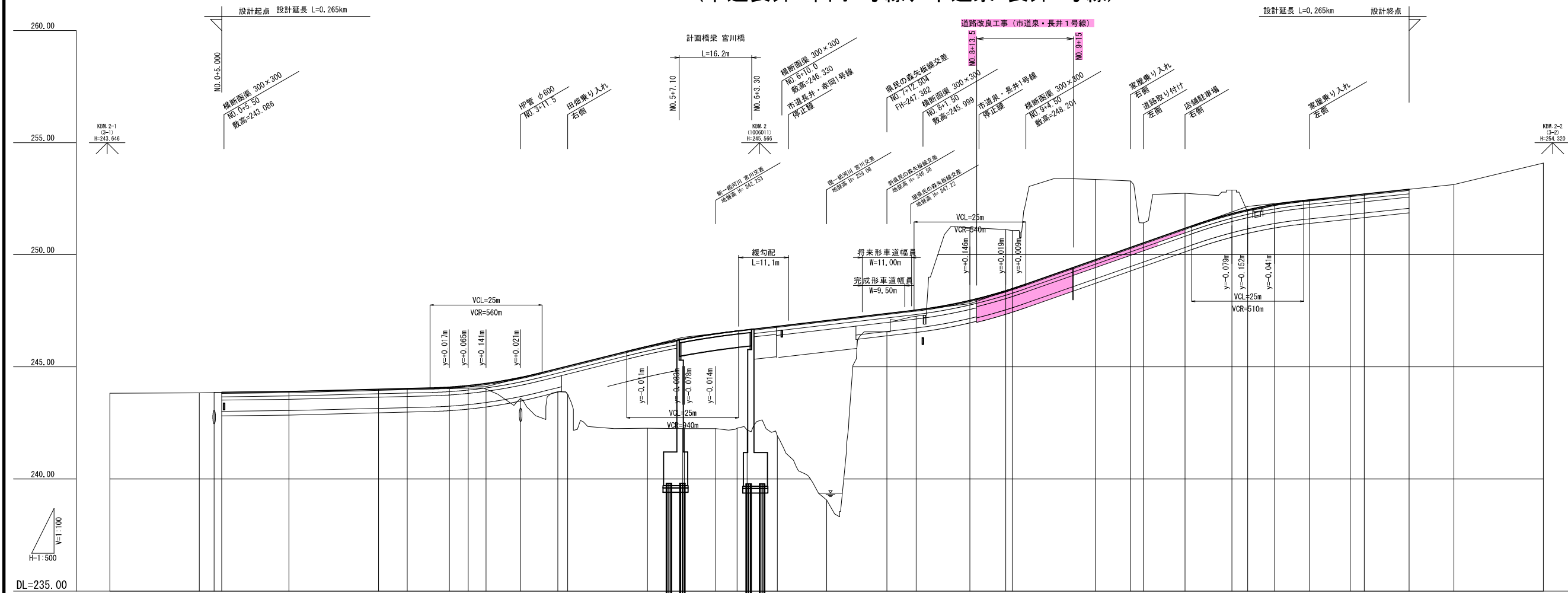


当初

工事名	道路改良工事(市道泉・長井1号線)分割2号		
図面名	計画平面図		
作成年月日	令和7年 月 日		
縮尺	S=1:500	図面番号	1/12
会社名			
事務所名	栃木県矢板市建設部建設課		

縦断図
(市道長井・幸岡1号線、市道泉・長井1号線)

SV=1:100
SH=1:500



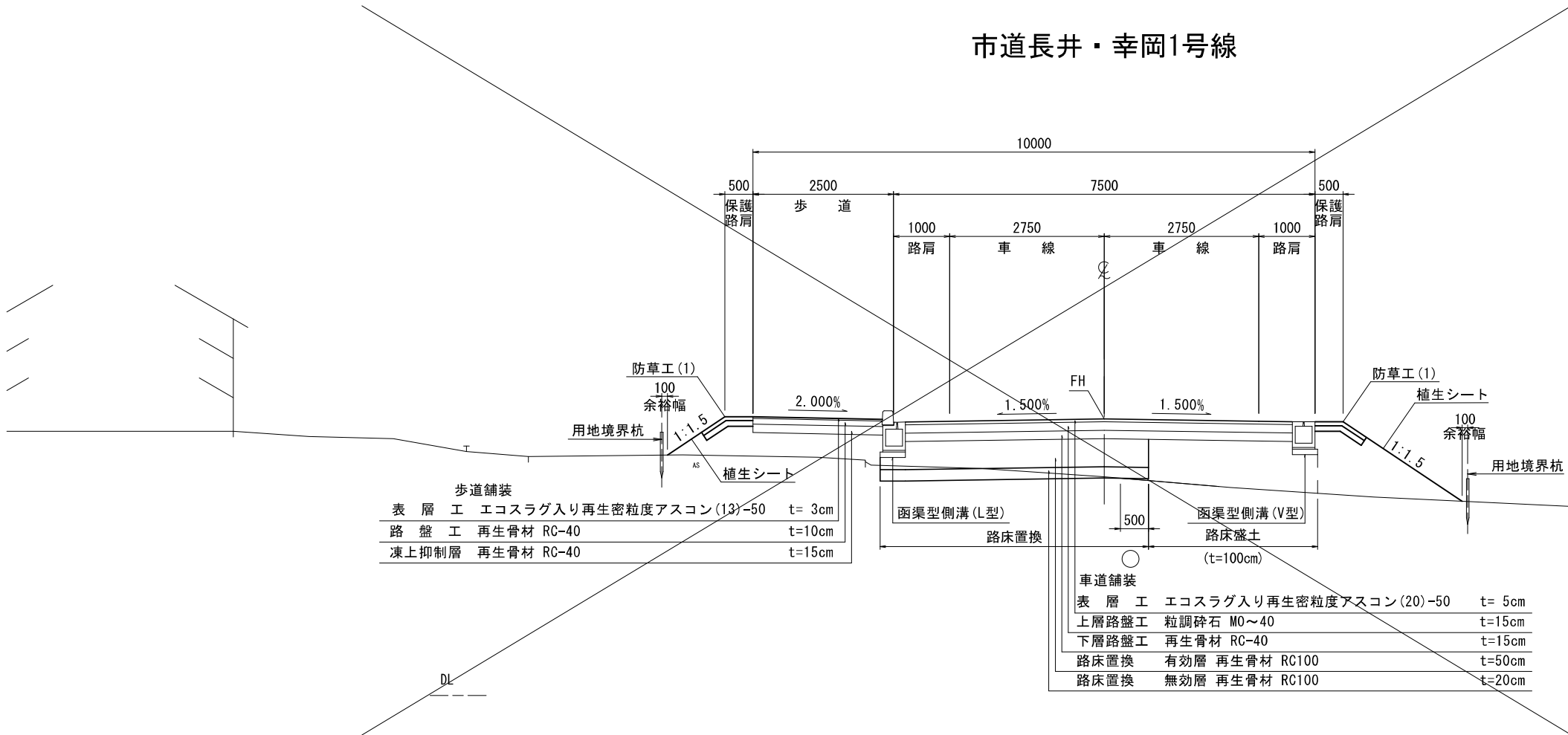
勾配																				
計画高																				
地盤高	243.82		243.84	243.88	243.86	243.90		243.99	244.00	244.032	244.096	244.165	244.26	244.526	244.920	245.030	242.26	245.909	246.245	246.473
切土																				
盛土																				
追加距離	-20.000		0.000	2.300	3.000	20.000		40.000	46.406	55.783	60.000	64.000	71.700	80.000	82.190	100.000	107.875	108.280	115.274	120.000
単距離	0.000	20.000	3.300	1.700		16.700		20.000	6.400	9.377	4.217	4.000	7.700	8.300	2.190	17.810	7.875	0.385	7.014	4.726
測点	NO. 1	NO. 0	-3.300	+3.000	KA1-1	NO. 2	KE1-1	KE1-2	NO. 3	+ 4.000	+11.700	NO. 4	KA1-2	NO. 5	+ 7.875	+3.280	+15.274	NO. 6	-2.280	-3.000
曲率図																				
片勾配	-1.500%	-1.500%	-1.500%	-1.500%	-1.500%	-1.500%	-1.500%	-1.500%	-1.500%	-1.500%	-1.500%	-1.500%	-1.500%	-1.500%	-1.500%	-1.500%	-1.500%	-1.500%	-1.500%	-1.500%
拡幅	0.00m	0.00m	0.00m	0.00m	0.00m	0.00m	0.00m	0.00m	0.00m	0.00m	0.00m	0.00m	0.00m	0.00m	0.00m	0.00m	0.00m	0.00m	0.00m	0.00m

工事名	道路改良工事(市道泉・長井1号線)分割2号		
図面名	縦断図		
作成年月日	令和7年 月 日		
縮尺	SV=1:100 SH=1:500	図面番号	2 / 12
会社名			
事務所名	栃木県矢板市建設部建設課		

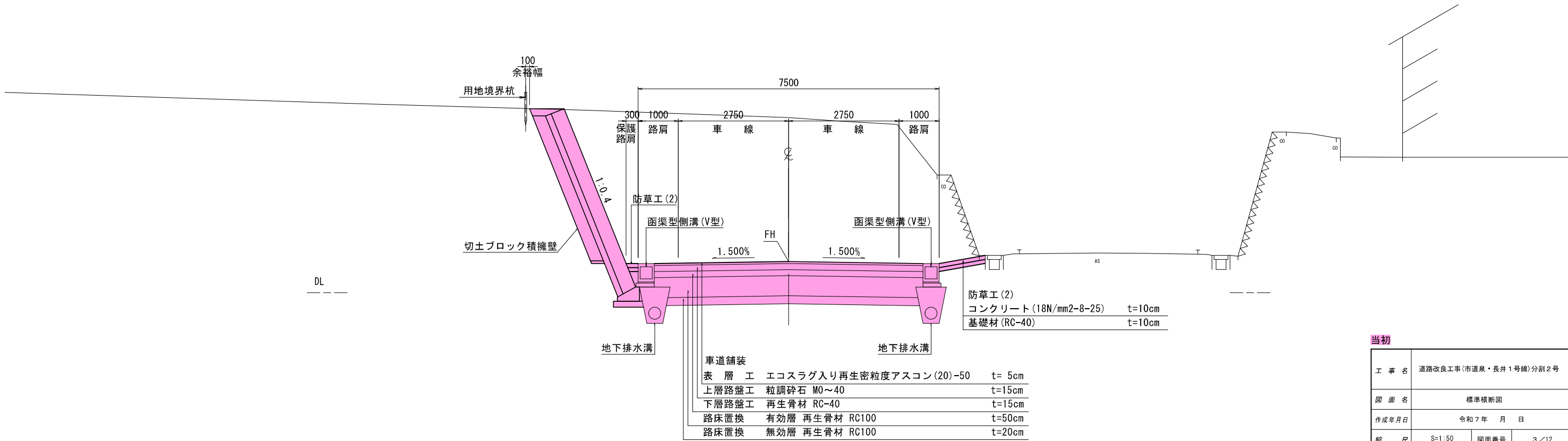
標準横断面図 S=1:50

市道長井・幸岡1号線

設計諸元			
路線名		市道長井・幸岡1号線	市道泉・長井1号線
道路規格		第3種第5級	第3種第4級
設計速度		V=30km/h	V=30km/h
幅員	車線	2×2.75m	2×2.75m
	路肩	1.00m	1.00m
	歩道	2.50m(片側)	
交通量区分		N3(L交通)	
設計CBR		0.2%(目標CBR=3%)	
設計値	表層	エコスラグ入り再生密粒度アスコン	5×1.00=5.00
	上路盤	粒調碎石	15×0.35=5.25
	下路盤	再生骨材	15×0.25=3.75
	路床	有効層 再生骨材	50
	路床	無効層 再生骨材	20
合計	合	TA	14.0
	計	目標TA	14.0



市道泉・長井1号線



当初

工事名	道路改良工事(市道泉・長井1号線)分割2号		
図面名	標準横断面図		
作成年月日	令和7年 月 日		
縮尺	S=1:50	図面番号	3 / 12
会社名			
事務所名	栃木県矢板市建設部建設課		

横断図 S=1:100

D=18.569

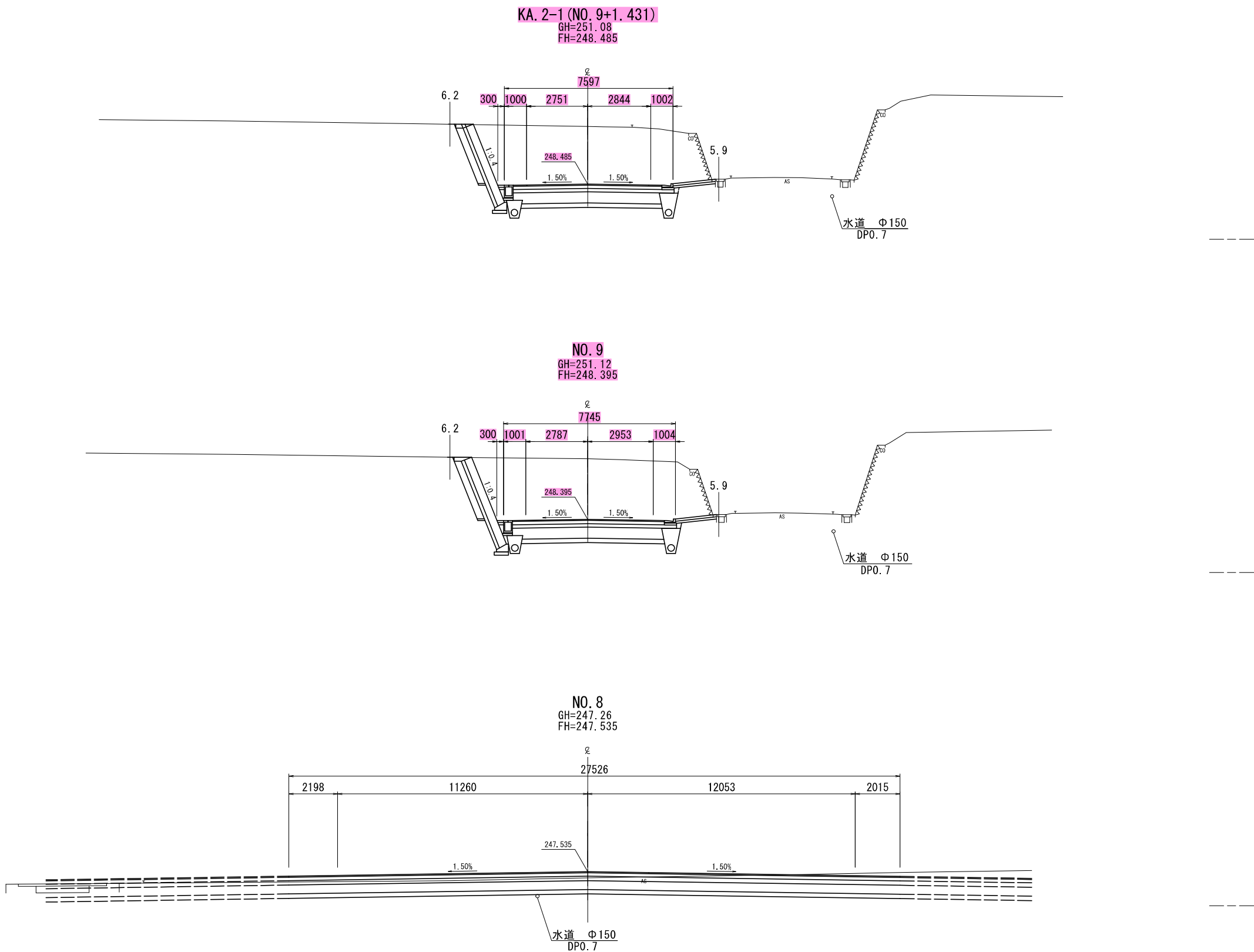
DL=246.00

D=1.431

DL=246.00

D=20.000

DL=246.00

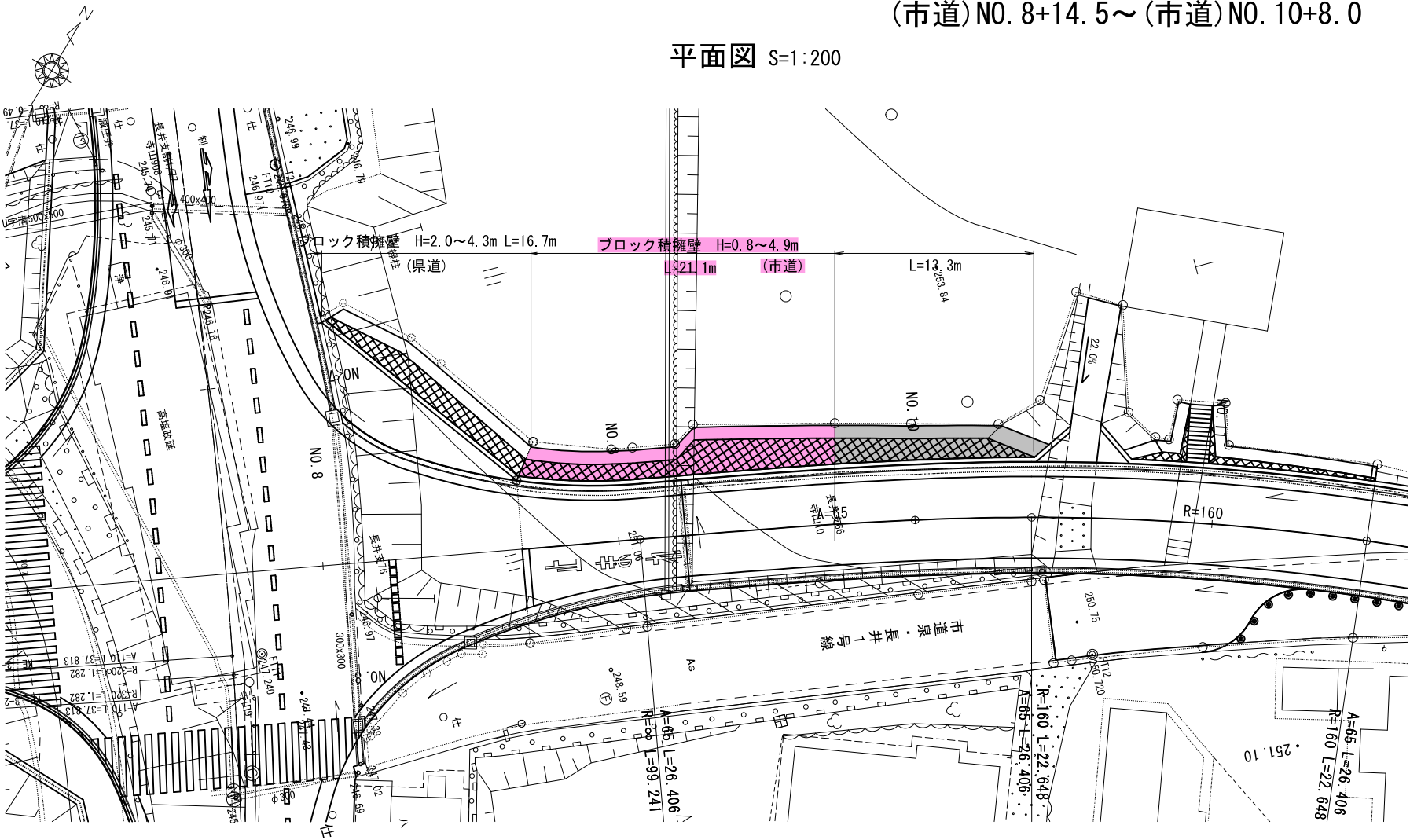


当初

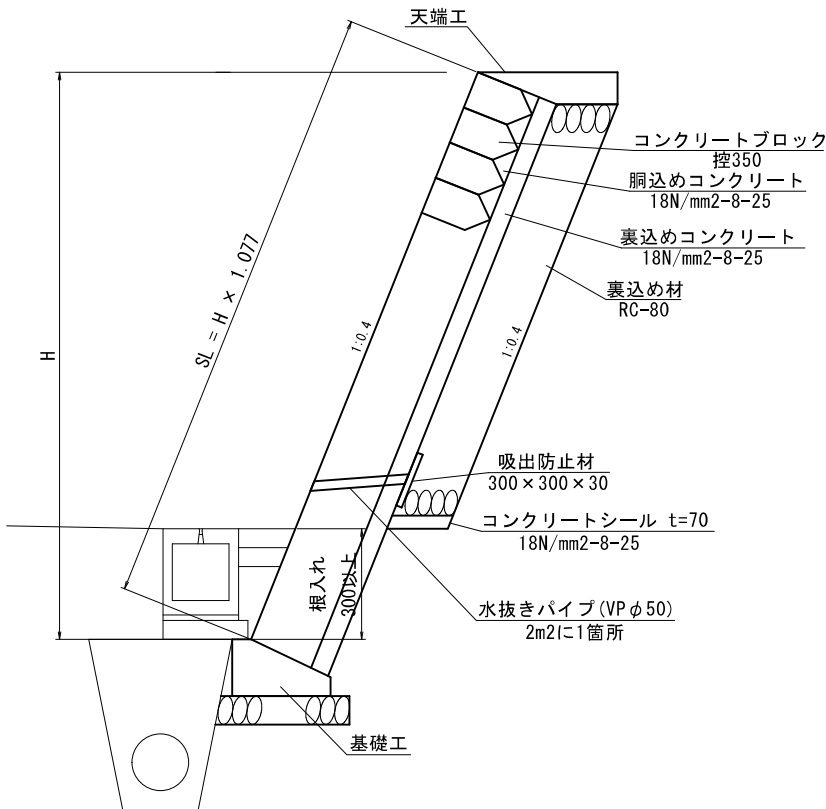
工 事 名	道路改良工事(市道泉・長井1号線)分割2号		
図 面 名	横断図		
作成年月日	令和7年 月 日		
縮 尺	S=1:100	図面番号	4 / 12
会 社 名			
事 務 所 名	栃木県矢板市建設部建設課		

ブロック積擁壁一般図
(市道)NO. 8+14.5～(市道)NO. 10+8.0

平面図 S=1:200

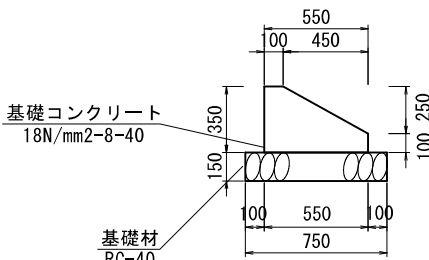
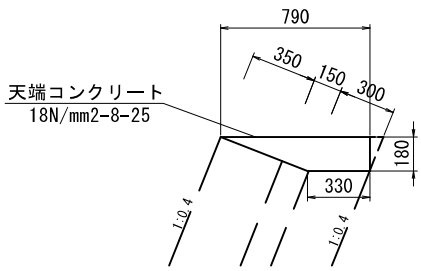


標準断面図 S=1:20

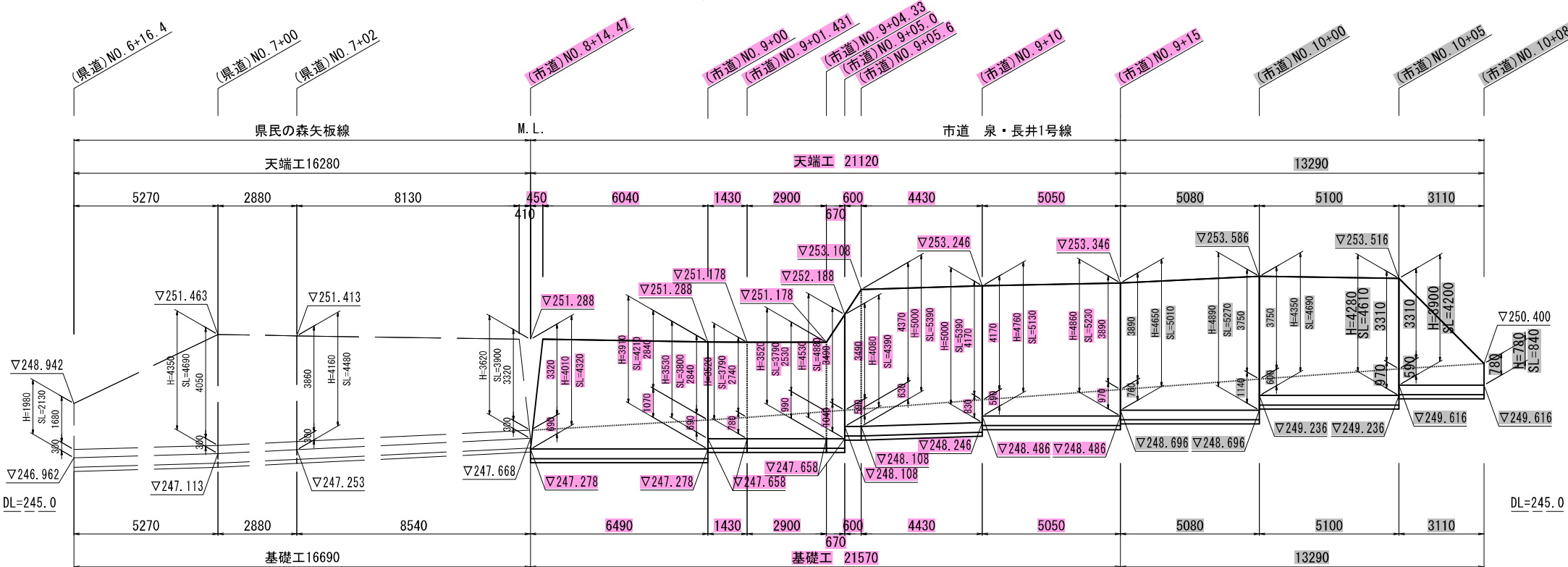


天端工 S=1:20

基礎工 S=1:20



展開図 S=1:100



材 料 表(市道8+14.5～市道10+8範囲) (1式当り)				
種 別	規 格	単 位	数 量	備 考
コンクリートブロック	控 350	m ²	156.6	
胴込めコンクリート	18N/mm ² -8-25	m ³	29.8	
裏込めコンクリート	18N/mm ² -8-25	m ³	23.5	
コンクリートシール	18N/mm ² -8-25	m ³	0.8	t=70
裏込め材	RC-80	m ³	35.1	
目地材	t=20	m ²	13.6	
水抜きパイプ	VPφ50	m	32.3	2m2に1箇所
吸出防止剤	300x300x30	m ²	5.4	
天端工		m	34.4	
基礎工		m	34.9	
足場工		掛m ²	156.6	

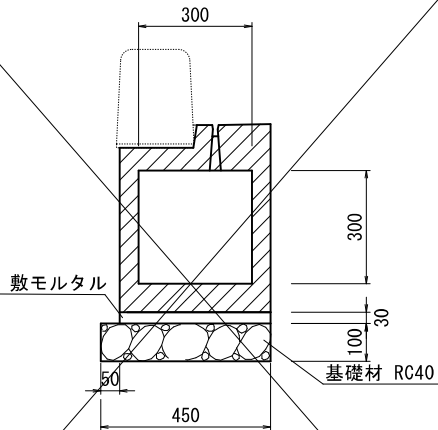
当初

工事名	道路改良工事(市道泉・長井1号線)分割2号		
図面名	ブロック積擁壁一般図		
作成年月日	令和7年 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	5/12
会社名			
事務所名	栃木県矢板市建設部建設課		

排水工構造図(1)

S=1:10

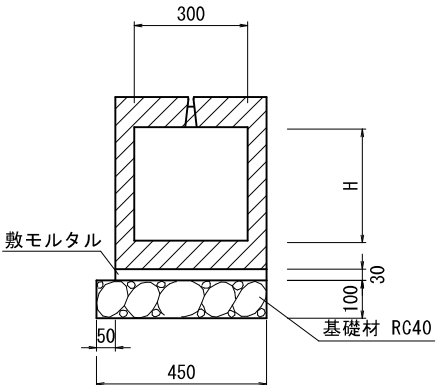
函渠型側溝 (L型)



※20mlに1箇所集水部設置

材料表 (10m当り)					
側溝ブロック		敷モルタル	基礎材	基面整正	備 考
一般部	集水部	1:3	RC-40		
個	個	m3	m2	m2	
4.5	0.5	0.12	4.5	4.5	

函渠型側溝 (V型)

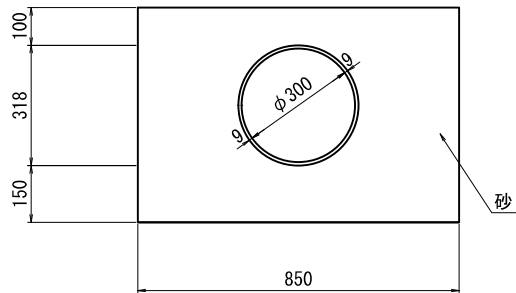


寸法表	
H	
300	
400	

※20mlに1箇所集水部設置

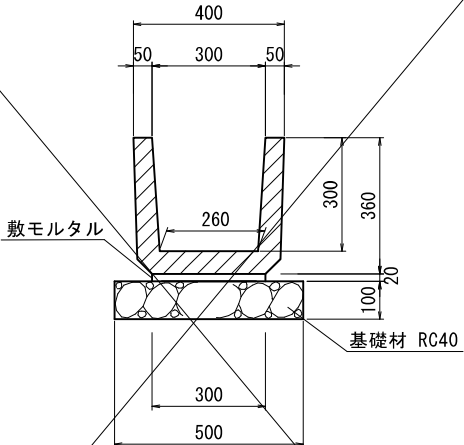
材料表 (10m当り)					
側溝ブロック		敷モルタル	基礎材	基面整正	備 考
一般部	集水部	1:3	RC-40		
個	個	m3	m2	m2	
4.5	0.5	0.12	4.5	4.5	

VU管 φ300



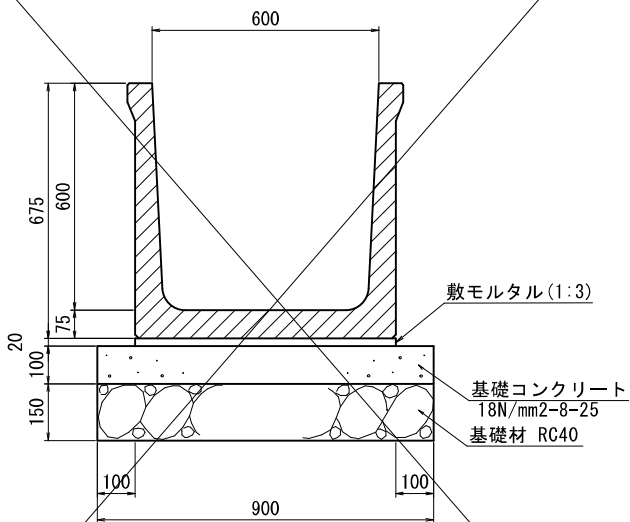
材料表 (10m当り)				
種 別	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
VU管	φ300	本	2.5	L=4000
砂		m3	4.0	

PU1側溝
300×300



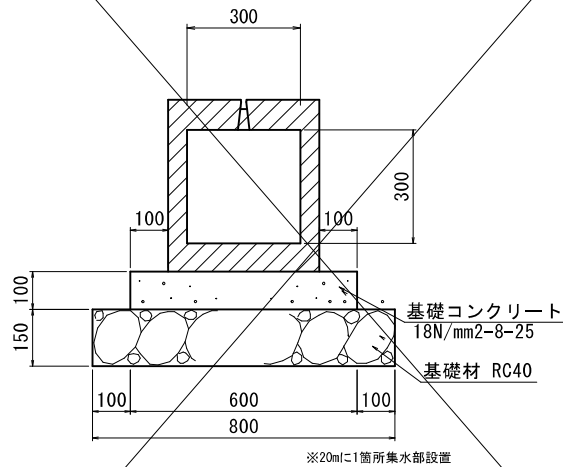
材料表 (10m当り)					
種 別	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	
側溝	300×300 L=600	個	16.7		
敷モルタル	1:3	m3	0.06		
基礎材	RC-40	m2	5.0		
基面整正		m2	5.0		

U型側溝
600×600



材料表 (10m当り)					
種 別	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	
側溝	600×600 L=2000	個	5.0		
敷モルタル	1:3	m3	0.14		
基礎コンクリート	18N/mm2-8-25	m3	0.9		
型枠		m2	2.0		
基礎材	RC-40	m2	9.00	t=150	
基面整正		m2	9.00		

函渠型側溝 (V型) 横断部
300×300



材料表 (10m当り)					
側溝ブロック	基礎コン	型枠	基礎材	基面整正	備 考
一般部	集水部	18N/mm2-8-25	RC-40	m2	
個	個	m3	m2	m2	
4.5	0.5	0.6	2.0	8.0	8.0

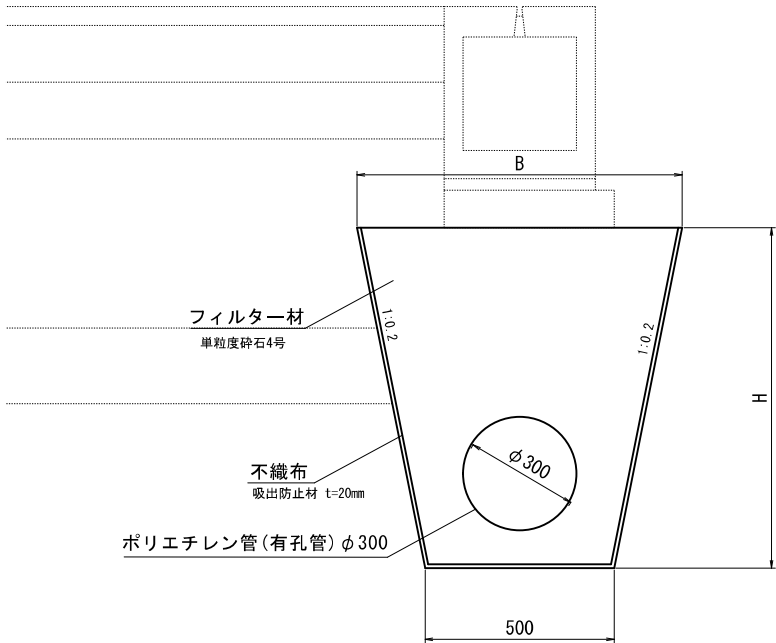
当初

工事名	道路改良工事(市道泉・長井1号線)分割2号		
図面名	排水工構造図(1)		
作成年月日	令和7年 月 日		
縮尺	S=1:10	図面番号	6/12
会社名			
事務所名	栃木県矢板市建設部建設課		

排水工構造図(2)

S=1:10

地下排水溝 φ300



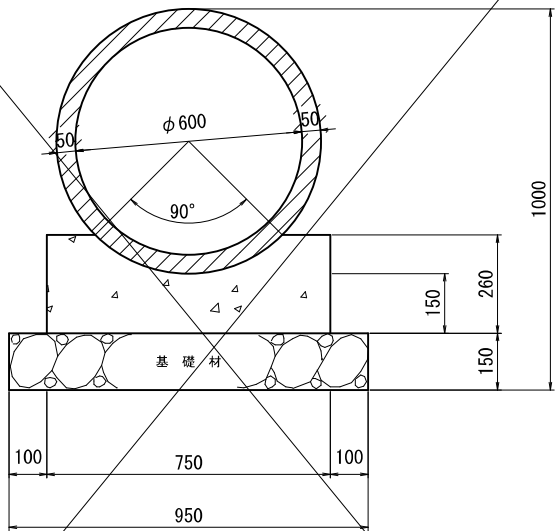
寸法表

H	B	摘 要
800	820	函渠型側溝(V型)300×400部
900	860	函渠型側溝(V型)300×300部
1085	934	L型側溝部

材料表

種 別	形 状 寸 法	単 位	数 量				摘 要
			H=800	H=900	H=1085	H=780	
ポリエチレン管(有孔管)		m	10.0	10.0	10.0	10.0	
フィルター材	単粒度砕石4号	m3	4.6	5.4	7.1	4.4	
不織布	吸出防止材 t=20mm	m2	21.3	23.4	27.1	20.9	

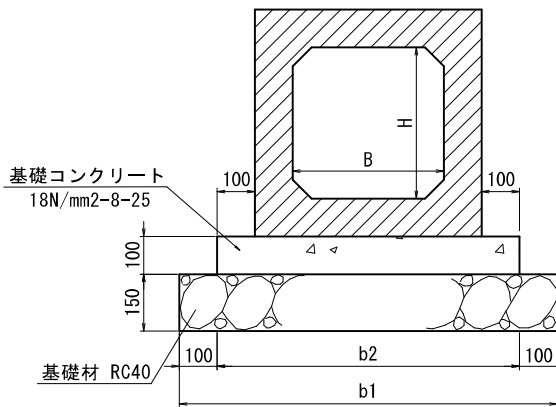
横断管(HP管) φ600



材料表

種 別	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
コンクリート	18N/mm2-8-25	m3	1.6	
基礎材	再生クワータン(RC-40)	m2	9.5	
型 枠		m2	5.2	
ヒューム管	L=2430	本	4.1	
基面整正		m2	9.5	

横断函渠



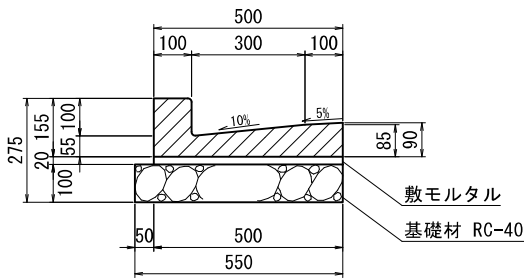
寸法表

B	H	b1	b2
300	300	860	660
600	600	1260	1060

材料表

種 別	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
基礎材	RC-40	m2	8.6	12.6
型 枠		m2	2.0	2.0
基礎コンクリート	18N/mm2-8-25	m3	0.66	1.06
函渠ブロック	L=2000	本	5.0	5.0
基面整正		m2	8.6	12.6

L型側溝



材料表

種 別	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
基礎材	RC-40	m2	5.5	
側溝		個	16.5	
敷モルタル	1:3	m3	0.100	

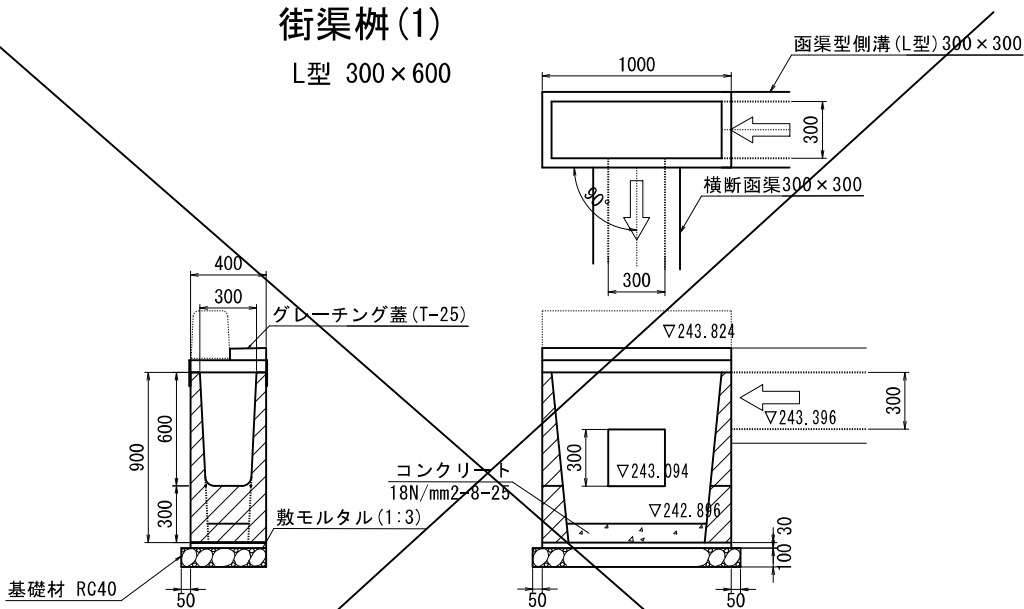
当初

工事名	道路改良工事(市道泉・長井1号線)分割2号		
図面名	排水工構造図(2)		
作成年月日	令和7年 月 日		
縮尺	S=1:10	図面番号	7/12
会社名			
事務所名	栃木県矢板市建設部建設課		

排水工構造図(3) S=1:20

街渠枳(1)

L型 300×600

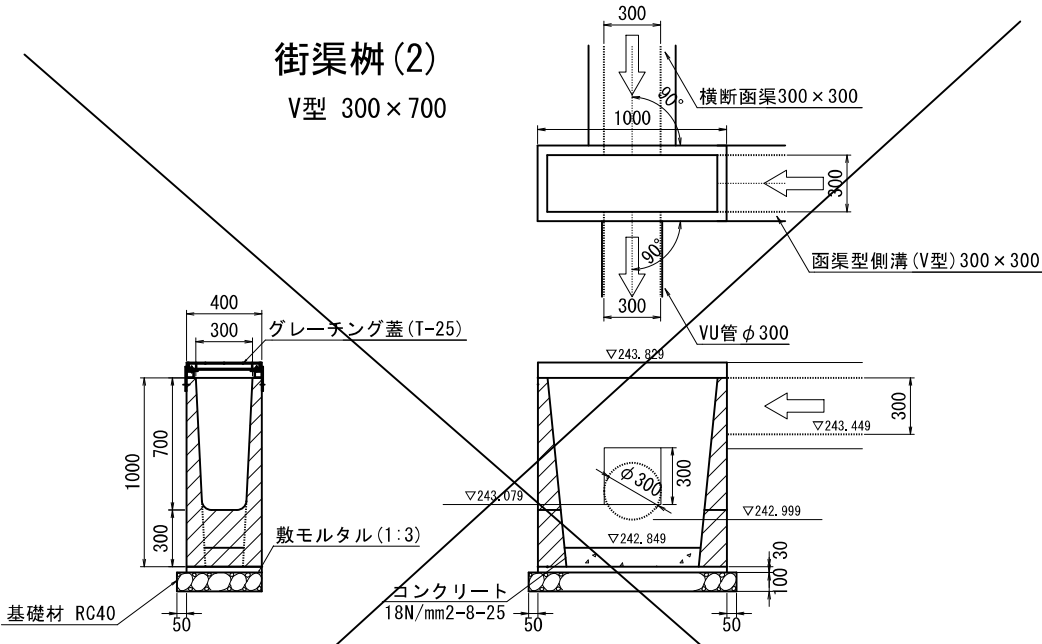


名 称	形状寸法	取 付 管	
		流入管	流出管
街渠枳(1)	300×600	管径	管径
		函渠型側溝(L型) 300×300	横断函渠300×300

寸法及び材料表			(1箇所当り)						
寸 法 表			材 料 表						備 考
W	H	B1	街渠枳		コンクリート	敷モルタル	基礎材	基面整正	
			本体	蓋(Gr含む)	18N/mm2-8-25	1:3	RC-40	m2	
300	900	600	1.0	1.0	0.02	0.01	0.50	0.50	

街渠枳(2)

V型 300×700

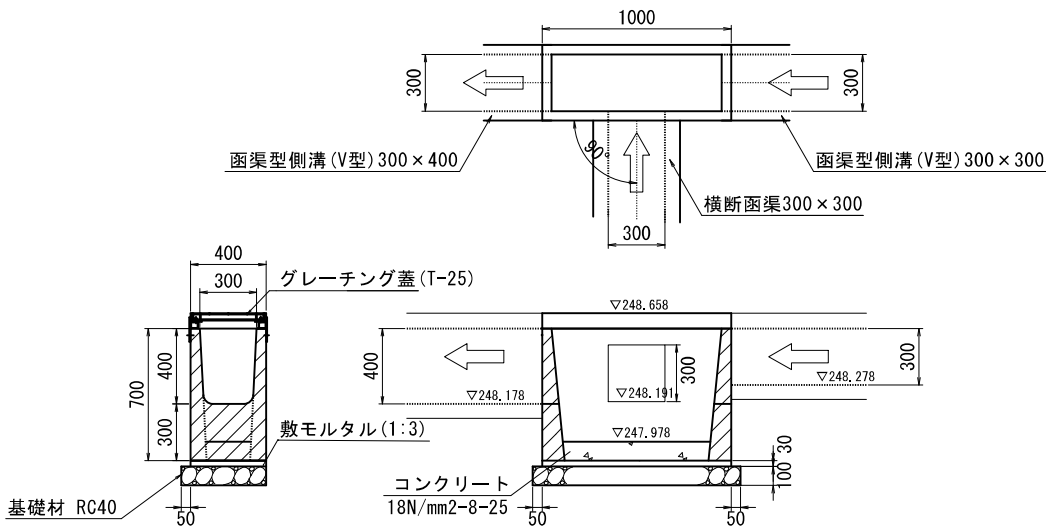


名 称	形状寸法	取 付 管	
		流入管	流出管
街渠枳(2)	300×700	管径	管径
		横断函渠300×300	VU管 φ300
		函渠型側溝(V型) 300×300	

寸法及び材料表			(1箇所当り)						
寸 法 表			材 料 表						備 考
W	H	B1	街渠枳		コンクリート	敷モルタル	基礎材	基面整正	
			本体	蓋(Gr含む)	18N/mm2-8-25	1:3	RC-40	m2	
300	1000	700	1.0	1.0	0.01	0.01	0.50	0.50	

街渠枳(3)

V型 300×400

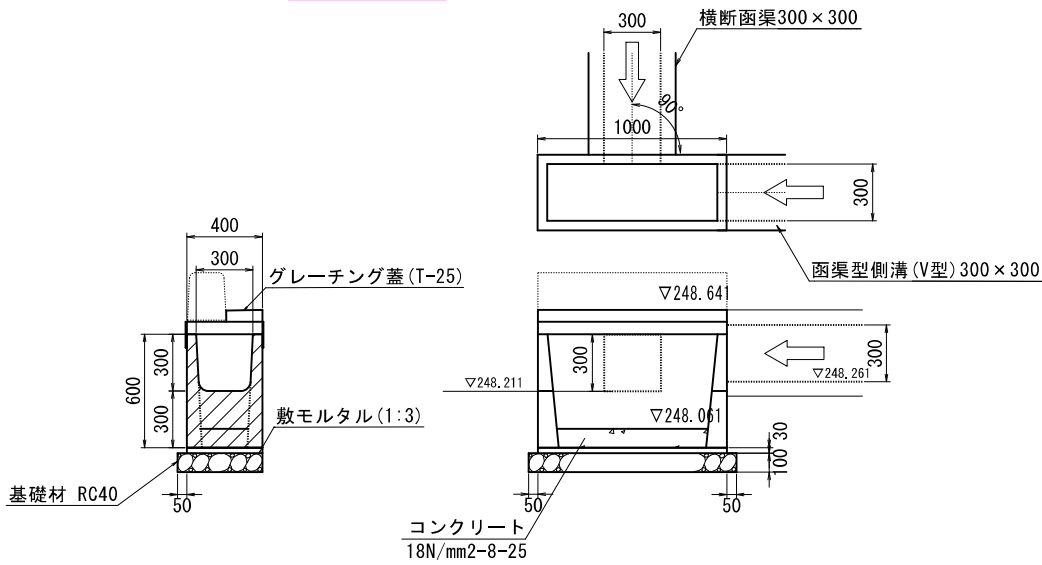


名 称	形状寸法	取 付 管	
		流入管	流出管
街渠枳(3)	300×400	管径	管径
		横断函渠300×300	函渠型側溝(V型) 300×400
		函渠型側溝(V型) 300×300	

寸法及び材料表			(1箇所当り)						
寸 法 表			材 料 表						備 考
W	H	B1	街渠枳		コンクリート	敷モルタル	基礎材	基面整正	
			本体	蓋(Gr含む)	18N/mm2-8-25	1:3	RC-40	m2	
300	700	400	1.0	1.0	0.02	0.01	0.50	0.50	

街渠枳(4)

L型 300×300



名 称	形状寸法	取 付 管	
		流入管	流出管
街渠枳(4)	300×300	管径	管径
		函渠型側溝(V型) 300×300	横断函渠300×300

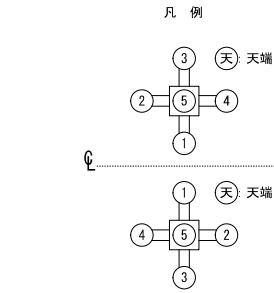
寸法及び材料表			(1箇所当り)						
寸 法 表			材 料 表						備 考
W	H	B1	街渠枳		コンクリート	敷モルタル	基礎材	基面整正	
			本体	蓋(Gr含む)	18N/mm2-8-25	1:3	RC-40	m2	
300	600	300	1.0	1.0	0.02	0.01	0.50	0.50	

当初

工 事 名	道路改良工事(市道泉・長井1号線)分割2号		
図 面 名	排水工構造図(3)		
作成年月日	令和7年 月 日		
縮 尺	S=1:20	図面番号	8/12
会 社 名			
事務所名	栃木県矢板市建設部建設課		

排水系統図

S=1:500

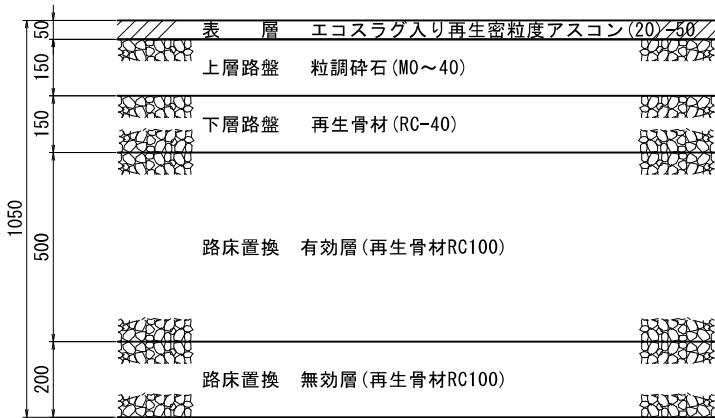


当初	
工事名	道路改良工事(市道泉・長井1号線)分割2号
図面名	排水系統図
作成年月日	令和7年 月 日
縮尺	S=1:500 図面番号 9/12
会社名	
事務所名	栃木県矢板市建設部建設課

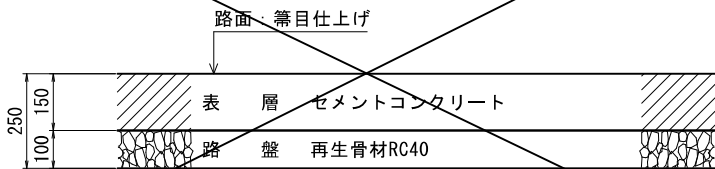
舗装構成図

S=1:10

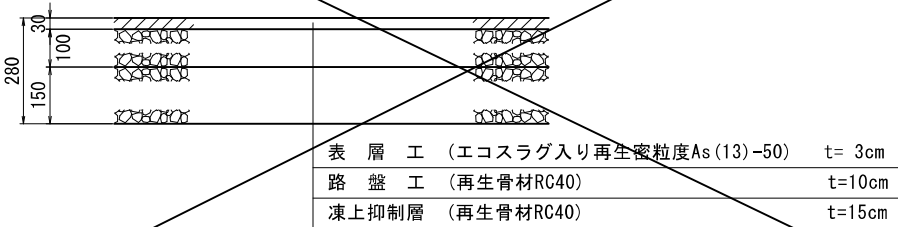
車道舗装



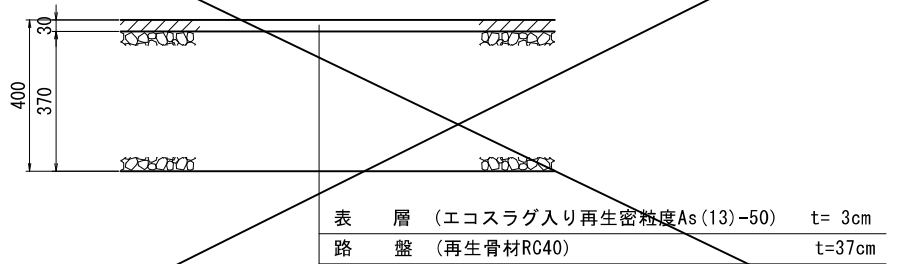
コンクリート舗装



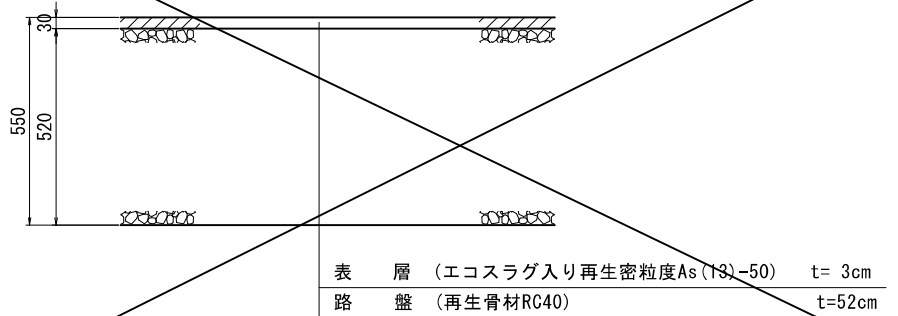
歩道舗装（一般部）



歩道舗装（乗入部①）



歩道舗装（乗入部②）



当初

工事名	道路改良工事（市道泉・長井1号線）分割2号		
図面名	舗装構成図		
作成年月日	令和7年 月 日		
縮尺	S=1:10	図面番号	10/12
会社名			
事務所名	栃木県矢板市建設部建設課		

区画線平面図

S=1:500

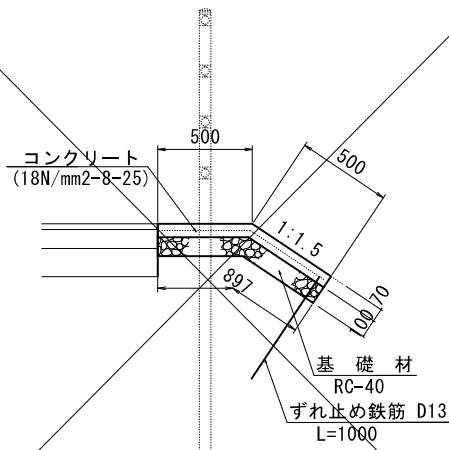


当初

工 事 名	道路改良工(市道泉・長井1号線)分割2号		
図 面 名	区画線平面図		
作成年月日	令和7年 月 日		
縮 尺	S=1:500	図面番号	11/12
会 社 名			
事務所名	栃木県矢板市建設部建設課		

付属施設工構造図

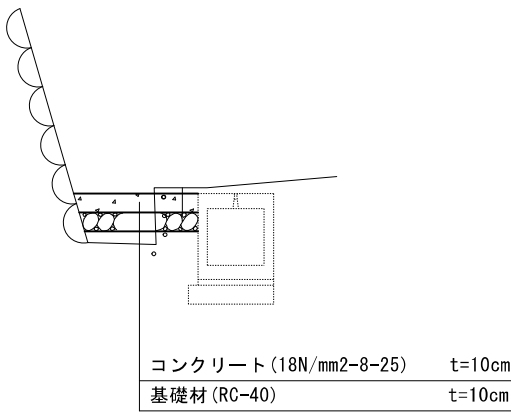
防草工(1) S=1:20
盛土部



材料表 (10m当り)

種 別	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
コンクリート	18N/mm2-8-25	m3	0.700	
型枠		m2	0.700	
溶接金網設置		m2	10.000	
コテ仕上げ		m2	5.000	
基礎材	RC-40	m2	8.970	t=100
ずれ止め鉄筋	D13 (0.955kg/m)	t	0.010	1mおき 深さ100cmを想定

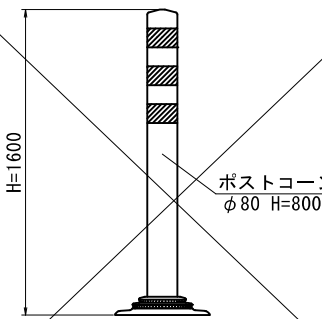
防草工(2) S=1:20



材料表 (10m2当り)

種 別	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
コンクリート	18N/mm2-8-25	m3	1.0	
基礎材	RC-40	m2	10.0	

ポストコーン (H=800) S=1:10



材料表 (10基当り)

種 別	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
ポストコーン	H=800	基	10.0	

当初

工事名	道路改良工事(市道泉・長井1号線)分割2号		
図面名	付属施設工構造図		
作成年月日	令和7年 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	12/12
会社名			
事務所名	栃 木 県 矢 板 市 建 設 部 建 設 課		